SONY

2-886-071-**04**(1)

BRAVIA

準備編

SXRD
Silicon X-tal Reflective Display

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン
SXRDプロジェクションテレビ **取扱説明書**

KDS-50A2500
KDS-60A2500

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「操作編」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「Q&A」ホームページ
お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル*……………………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は*………03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX……………………………………0466-31-2595
受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：その他のご相談

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

BRAVIA ENGINE PRO

準備編

Printed in Japan

eco info この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。

目次 準備編

リモコン操作の説明や困ったときは、別冊の「操作編」をご覧ください。

次のページにつづく ⇨

目次（つづき）

⚠警告 安全のために

ご使用の前に、この取扱説明書「準備編」と「操作編」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「安全点検チェックリスト」に従って点検してください。

1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。(有料)

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。

また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビを見ているときや、スタンバイ状態(画面が消えていて、本体の電源/スタンバイランプが赤色に点灯中)のときに、テレビ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

❶電源を切る
❷電源プラグをコンセントから抜く
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

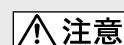
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

風呂・シャワー室での使用禁止

接触禁止

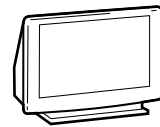
行為を指示する記号

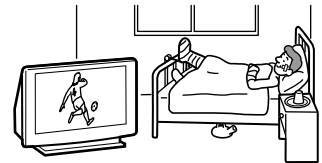
プラグをコンセントから抜く

下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

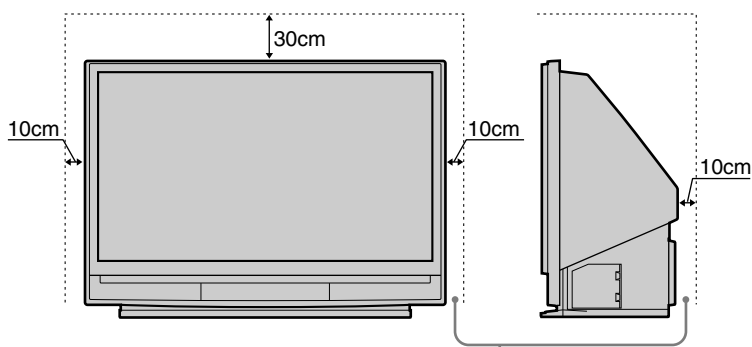
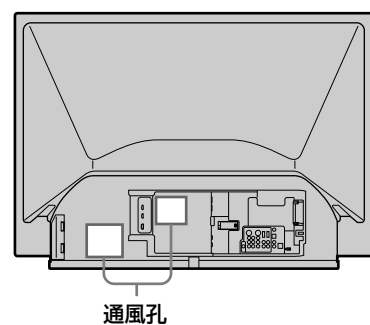
次のことを守って、スタンドに本機を設置する

誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

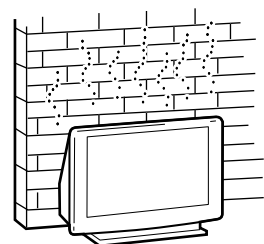
- スタンドの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 転倒防止の処置を必ず行う。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置のしかたについては、スタンドの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

周囲に間隔を空ける

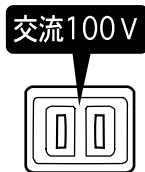
周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機を壁に近づけすぎると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源（コード、プラグ）

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V（50/60Hz）以外では使用しない

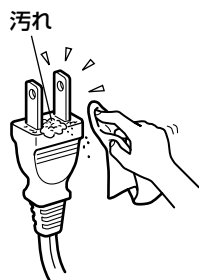
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。
また、接続をやり直すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを熱器具に近づけない、加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

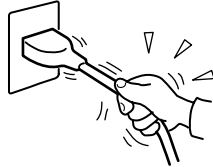
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

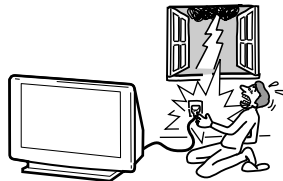
ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により
死亡や**大けが**の原因となります。

電源コードを引っ張らない

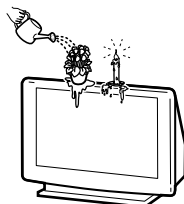
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

使用

本機にぶらさがったり、乗ったりしない

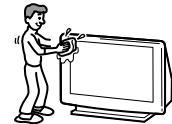
本機が倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

本機を水でぬらしたりしない

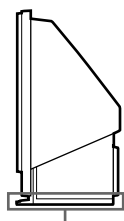
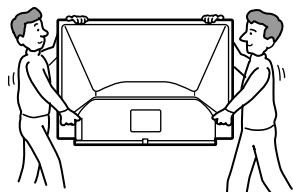
感電や故障の原因となります。

ランプ交換以外の目的でランプを取り出さない

ランプは、電源を切って30分たっても100度以上になっていることがあるので、やけどや火災の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により
死亡や**大けが**の原因となります。

移動、設置

正しい方法で運搬/移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
テレビの底面を持つときは、イラストにあるように後ろ側から手を回してしっかりと持ってください。
本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブル等をすべてはずしてください。
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

台座は持たないでください。

プラグをコンセントから抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

禁止

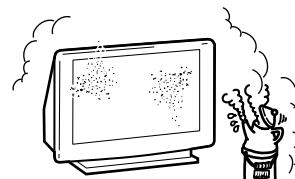
水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

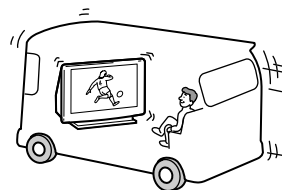
風呂・シャワー室での使用禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

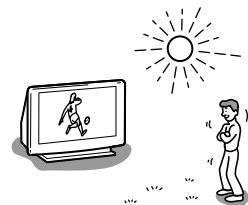
火災や感電の原因となることがあります。
銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

禁止

乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。
また、船舶の中などでは塩水をかぶり、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

禁止

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因となることがあります。

接触禁止

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。
本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

プラグをコンセントから抜く

人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続･配置してください。

禁止

音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。
ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。
また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐ差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、発熱して、火災や故障の原因となることがあります。

注意

船舶の中など、海の近くでは本機の金属が塩分で腐食し、発熱や発火を起こすことがあります

船舶の中など、海の近くで本機を使用すると、機器寿命が短くなることがあります。

ぬれた手で触れない

本機をぬれた手で触ると、感電したり、本機が故障して発煙することがあります。

ぬれ手禁止

操作部以外には不用意に手を触れない

使用中や電源を切った直後は熱くなっているところがあります。

接触禁止

安全点検チェックリスト

安全点検項目

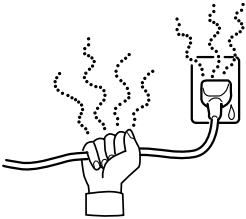
設置場所と設置方法

番号	点検項目
❶	布やテーブルクロスなどで **通風孔をふさいで**いませんか
❷	**水気、油気、湿気、ほこりの多いところ**に 置いていませんか
❸	**不安定な場所**に置いたり、 **不安定な置きかた**をしていませんか

電源コードとプラグ

番号	点検項目
❹	電源コードが**物**(**椅子、机、台など**)**の下敷き**になっていませんか
❺	**たこ足配線**をしていませんか
1	電源コードを動かしたとき、 **電源が入ったり切れたり**しませんか
2	電源コードが窮屈に**折れ曲がったり、** **キズがついたり**していませんか
3	電源コードやプラグが**異常な熱**を持っていませんか

テレビ本体

番号	点検項目
4	**異常な熱や煙**が発生したり **変な臭いや音**(パチパチ)がしませんか
5	電源を入れても **画像や音が出ない**ことがありませんか
6	**画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか
7	**通風孔から水や異物**(紙・虫・クリップ・ピンなど)が入った形跡がありませんか
8	**故障状態のまま**使用していませんか

	点検結果		年／月 ○良い　×悪い			処置手順
❸						×印の項目があるとき ↓ **そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。** ↓ 正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
3						1つでも×印があるとき ↓ **すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。** ↓ お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。
6						

使用上のご注意・お手入れについて

使用上のご注意

本機は光源としてランプを使用しています。
電源を入れてから映像が出るまで多少時間がかかり(約30秒)、その間、電源/スタンバイランプが緑色に点滅します。
なお、電源を切るときは必ず本体またはリモコンの電源スイッチで電源を切ってください。電源を切ったあとも2分間は冷却用のファンが働いています。電源プラグを抜くときや、ブレーカーを切るときは本体の電源スイッチで電源を切って数分たってから行ってください。

見る場所について

- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- 本機は見る位置により、見やすさが多少異なります。また、画面を間近から見ると目や神経などが疲れることがあります。☞22ページの図を参考に設置して、見やすい場所からご覧ください。

本機を設置する場所について

- 電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐにプラグを抜くようにしてください。
- 本機を、日光が直接当たったり、暖房の熱気が直接当たる場所には設置しないでください。本機が熱を持ち、キャビネットの変形や故障の原因となります。また、冷房の冷気も直接当たらない位置に設置してください。結露などが発生して、故障する恐れがあります。
- 後面をふさがないように設置し、充分に通風ができるようにしてください。
- 本機底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
  スタンド、ラックなどに載せるときは、本機との間にものを挟まないようにしてください。特にテレビの幅よりも極端に狭い幅のものを挟んだりしないようご注意ください。ものを挟むと本機に負荷がかかり、破損する恐れがあります。
  また、設置時や設置後に本機を揺らさないでください。台座とスタンドの間に指を挟んだとき、けがの原因となることがあります。
- 強い光が画面に当たらないように設置してください。直射日光や照明などの強い光が画面に当たると、プロジェクションテレビの構造上、本機内部で反射して、画面の一部が白っぽく見えることがあります。

アンテナ工事について

アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

スクリーンについて

- スクリーンの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけないでください。
- 冬、暖房をし始めた部屋や、湿度の高い部屋に置いたり、寒いところから急に暖かいところに移動したりすると、結露により内部に水滴がつくことがあります。結露すると画面がゆがんだり、色がなくなることがあります。このようなときは、結露がなくなるまでしばらくお待ちください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)がある場合がありますが、故障ではありません。
パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

画面の残像について

プロジェクションテレビは、画面の同じ位置に、形状などが変わらない画像(コントラストの強い静止画、チャンネル表示や放送局のロゴやマークなど)を長時間表示し続けると、一時的な残像が現れることがあります。
このときは、いったん電源を切り、しばらくすると、残像は自然に消えます。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたってメール、番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。消去の方法について詳しくは、「本機に記録された個人情報を消去する」(☞70ページ)をご覧ください。
- 本機の不具合･修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損･消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

外部録画機器使用上のご注意

何らかの原因でコンテンツが外部録画機器で記録できなかった場合や、外部録画機器で記録されたコンテンツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

スクリーン面のお手入れについて

スクリーン面は反射による映り込みを押さえるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スクリーン表面に付いた汚れは、柔らかいきれいな布で拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、柔らかいきれいな布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので絶対に使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ボールペンやドライバーなど、先の尖ったものでスクリーン面に触れたり、擦ったりしないでください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

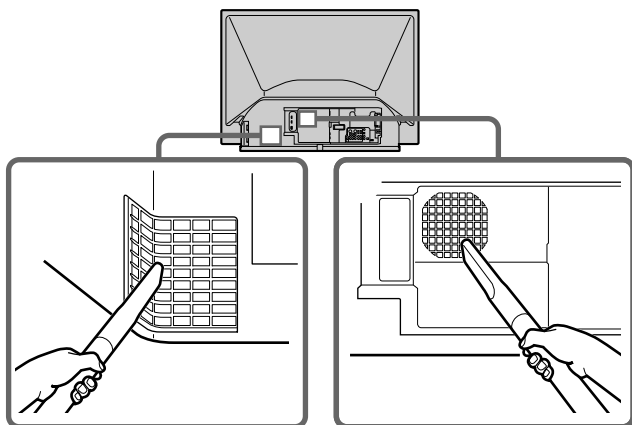
外装のお手入れについて

- 柔らかいきれいな布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラぶきしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

次のページにつづく ⇨

使用上のご注意・お手入れについて（つづき）

ファンの通風孔のお手入れについて

本機のファンの通風孔は定期的に掃除してください。ゴミやほこりがたまると、冷却装置が正常に作動しなくなることがあります。

光源用ランプについて

本機は光源としてランプを使用しています。以下のことにご注意ください。

- 電源を入れてから映像が出るまで多少時間がかかります（約30秒）。
  なお、電源を切るときは必ず本体またはリモコンの電源スイッチで電源を切ってください。電源を切ったあとも2分間は冷却用のファンが働いています。電源プラグを抜くときや、ブレーカーを切るときは本体の電源スイッチで電源を切って数分たってから行ってください。
- ランプは消耗品ですので、定期的な交換が必要です。使用時間の経過により映像が次第に暗くなり、最終的には不点灯状態になります。不点灯状態になるとき、まれに大きな破裂音がしてランプが割れることがあります。割れたランプを交換するときに、ガラス片がこぼれ落ちることがありますので、充分注意してください。
  ランプの交換時期が近づくと本機の電源を入れたときに、画面にランプ交換を促すメッセージが表示されます。ランプが完全に切れてしまう前に、お近くのソニー商品取扱い販売店またはソニースタイルのホームページ（http://www.jp.sonystyle.com/Qnavi/visual.html）で、別売りランプユニットXL-5200を購入し、ランプ交換を行ってください。詳しくは、「光源用ランプの交換について」（☞「操作編」70ページ）をご覧ください。
- ランプからは強い光が出ます。目を痛める恐れがありますので、本機内部を覗き込まないでください。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

廃棄するときは

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- **本機のランプの中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 指定された種類の電池を使用する。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

デジタル放送について

本機は、地上アナログ放送とデジタル放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)に対応しています。デジタル放送の基礎知識を知りたいかたや、はじめてデジタル放送をご覧になるかたはお読みください。

デジタル放送のメリット

従来のアナログ放送に比べ、デジタル放送には多くのメリットがあります。大量の情報を高速で送ることができるので、今までよりはるかに高品質な(ゴーストや雑音のない)映像や音声を楽しめます。また、番組に関連した情報と一緒に楽しむことができ、さまざまな放送サービスを実現します。

「見るテレビ」から「使うテレビ」へ

デジタル放送により、テレビはこんなに楽しく便利になります。

高画質、高音質
美しいハイビジョン映像とクリアな音声が楽しめます。

番組表
テレビ画面から番組選びが簡単にできます。

データ放送
気象情報や暮らしに役立つ地域情報などをすぐに見ることができます。

双方向サービス
リクエストやクイズ番組など視聴者の参加が可能です。

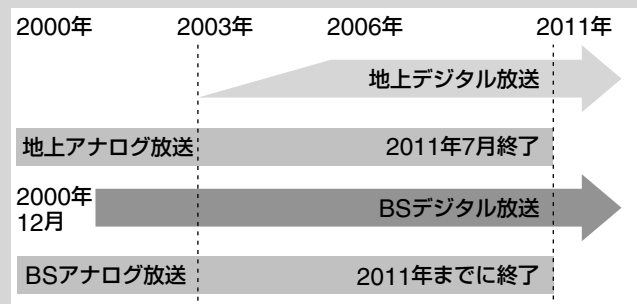
マルチ(複数)チャンネル
違う番組を同時に放送、番組選びの幅が拡大します。

バリアフリー
字幕放送など、高齢者や障害者に優しいサービスです。

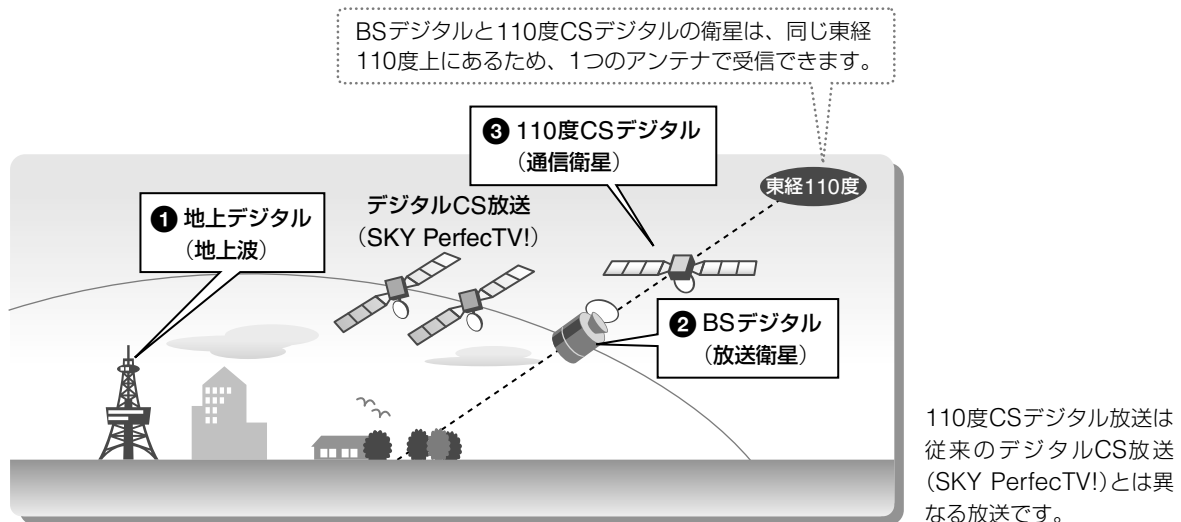
ラジオ放送
音楽CD並みの高品位な音質で、音声のみを楽しめます。

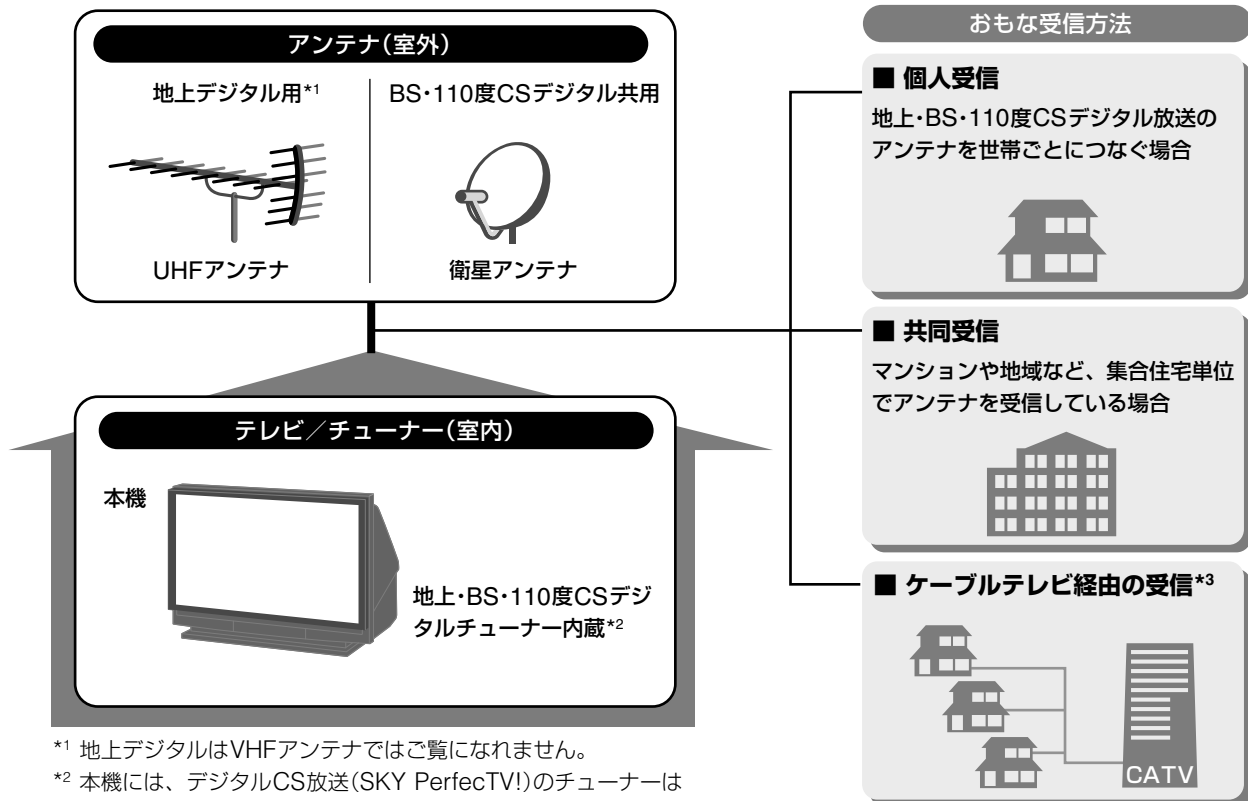
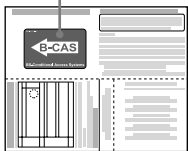
アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタルは、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部地域で2003年12月より放送が開始され、その他の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。地上アナログは2011年7月*に、BSアナログは2011年*までに放送が終了することが、国の方針として決定されています。

* 2007年2月現在の情報です。

本機で楽しめるデジタル放送の種類

本機で楽しめるデジタル放送は地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの3種類です。

110度CSデジタル放送は従来のデジタルCS放送（SKY PerfecTV!）とは異なる放送です。

デジタル放送を見るために必要なもの

デジタル放送を見るためにはそれぞれアンテナとチューナーが必要です。地上デジタルには「地上デジタルに対応したUHFアンテナ」が、BS･110度CSデジタルには「BS･110度CSデジタルに対応した衛星アンテナ」が必要です。デジタル放送の受信方法は、おもに3種類あります。

*1 地上デジタルはVHFアンテナではご覧になれません。
*2 本機には、デジタルCS放送（SKY PerfecTV!）のチューナーは内蔵していません。
*3 本機はパススルー方式の全ての周波数に対応しています。
送信方式について詳しくは、☞27ページをご覧ください。

お住まいの環境に合わせてアンテナをご用意ください。

付属品を確認する

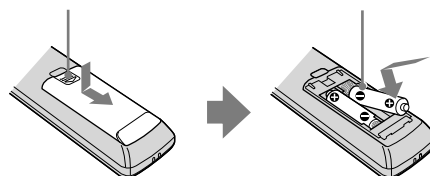
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

付属品一覧

付属品	
• B-CAS(ビーキャス)カード(デジタル放送用ICカード)(1枚) • B-CAS用ユーザー登録はがき台紙(1枚)	
• リモコン(1個) • 単3形乾電池(2個)	
• AVマウス(2.5m)(1本)	
• VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル(2.5m)(1本)	
• テレホンコード(10m)(1本)	
• モジュラーテレホンコードカプラー(1個)	
• 転倒防止キット － クリップ(2個) － 取付用ネジ(2個)	
• 取扱説明書「操作編」 • 取扱説明書「準備編」 • ソニーご相談窓口のご案内 • 保証書 • ソフトウェアに関する重要なお知らせ (各1部)	

別売りアクセサリーについて

他の機器との接続(☞36ページ)には、別売りアクセサリーが必要です。本書記載の別売りアクセサリーは、2006年7月現在のものです。万一品切れや生産完了のときはご容赦ください。

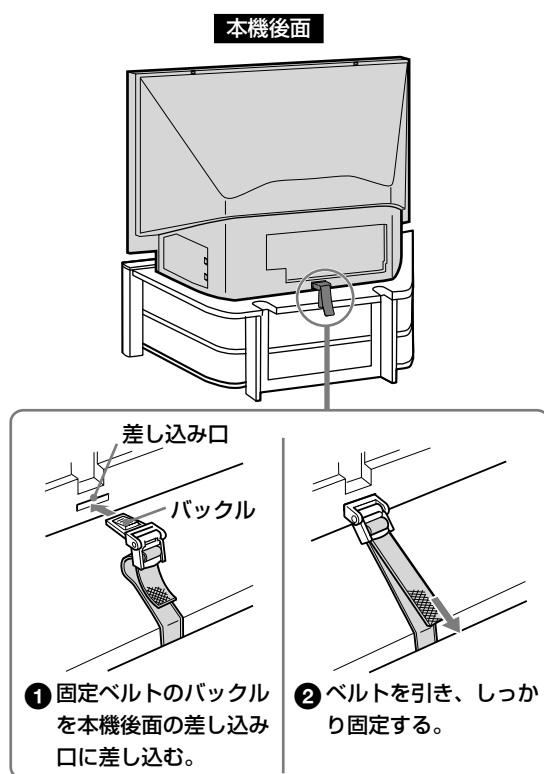
リモコンに電池を入れるには

テレビ台に置く

本機をテレビスタンドなどに設置します。設置後、本機が転倒しないように、転倒防止の処置をしてください。

専用のテレビスタンドを使うとき

別売りのテレビスタンドSU-RS11M（KDS-50A2500）/SU-RS11X（KDS-60A2500）をご使用のうえ、テレビスタンドに付属の取扱説明書をよく読み、正しい手順で設置してください。
テレビスタンドの取り付けは、お買い上げ店か工事店にご依頼ください。

転倒防止の処置をする

別売りの専用テレビスタンドSU-RS11M（KDS-50A2500）/SU-RS11X（KDS-60A2500）に付いている固定ベルトを、本機後面の差し込み口に差し込んでください。

市販のテレビスタンドを使うとき

本機の底面より広くて水平なものをお使いください。耐重量や載せられるサイズも必ずご確認ください。
詳しくは、本機やテレビスタンドをお買い上げいただいたお店にご相談ください。

転倒防止の処置をする

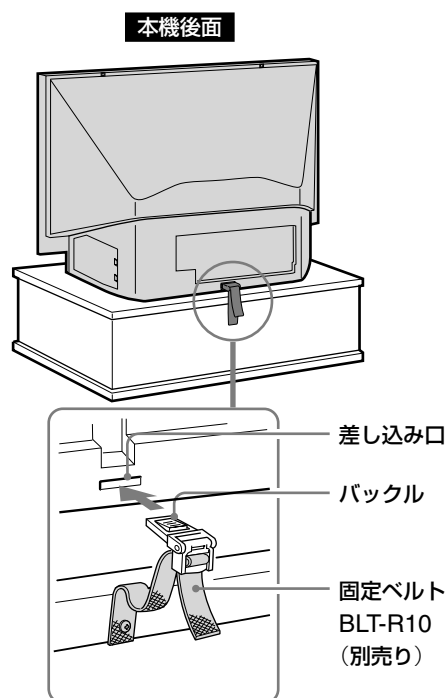
以下のいずれかの方法で、転倒防止の処置をしてください。

- 別売りの固定ベルトBLT-R10を使って、テレビスタンドなどに固定する。
- 付属の転倒防止キットを使って、壁や柱などに固定する。

別売りの固定ベルトを使うとき

別売りの固定ベルトBLT-R10をテレビスタンドなどに取り付け、本機後面の差し込み口に差し込んでください。

次のページにつづく ⇨

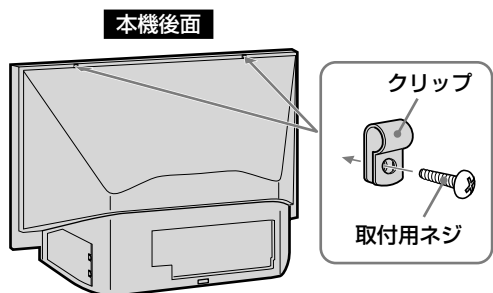
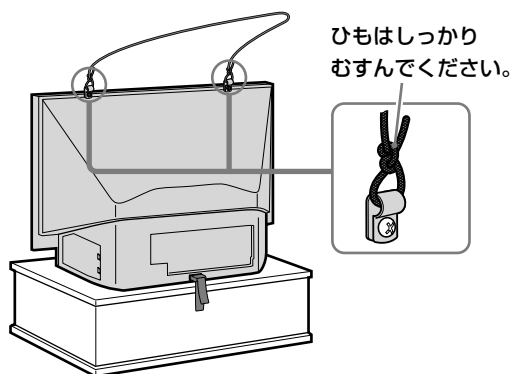
テレビを見るための準備

ご注意

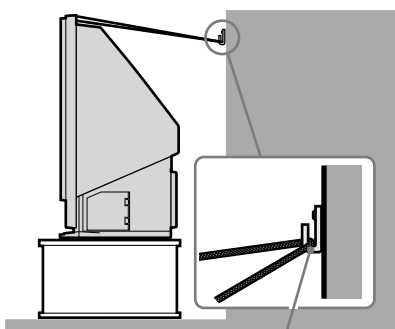
- 転倒防止の処置をしないと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。
- 本機を段差やデコボコ、うねりがある台には置かないでください。キャビネットの変形やきしみの原因になり、破損することがあります。

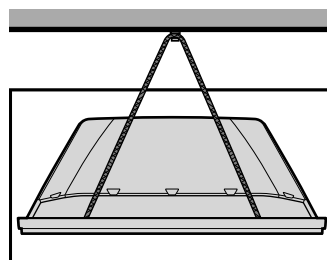
テレビ台に置く（つづき）

付属の転倒防止キットを使うとき

作業をする前に、市販のひもやクサリ、取付金具などをご用意ください。

1 **本機後面にあるネジ穴（2か所）に、取付用ネジでクリップを取り付ける。**

2 **取り付けたクリップにひもなどを通す。**

3 **壁や柱などの安定した場所に、手順2で取り付けたひもなどをしっかり固定する。**

横から見たところ

取付金具は、壁や柱に確実に取り付けてください。

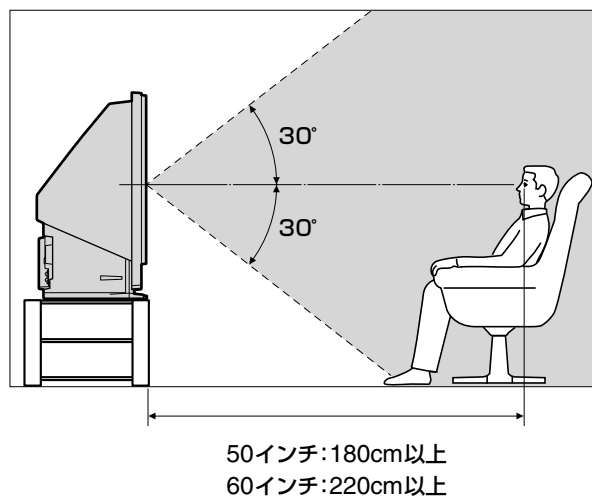
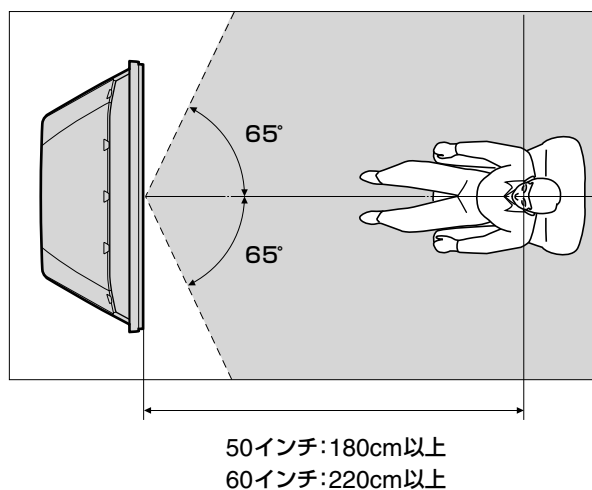
上から見たところ

テレビの見やすい位置

本機は見る位置により、見やすさが多少異なります。下図のように見やすい位置からご覧ください。また、画面を間近から見ると、目や神経などが疲れることがあります。長時間ご覧になるときは、できるだけ離れてご覧ください。

横から見たところ

50インチ：180cm以上
60インチ：220cm以上

上から見たところ

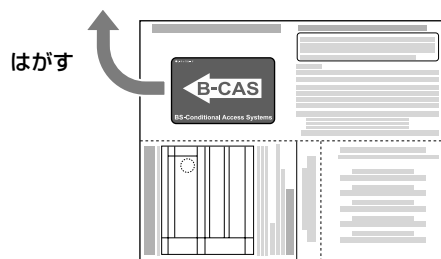
50インチ：180cm以上
60インチ：220cm以上

B-CAS（ビーキャス）カード（デジタル放送用ICカード）を入れる

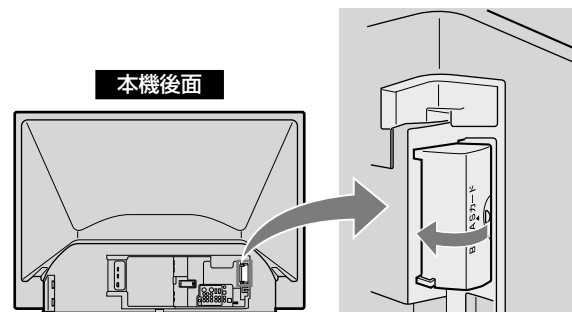
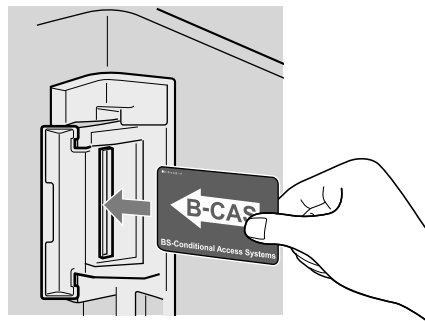
B-CASカード（デジタル放送用ICカード）はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

2004年4月より、番組の著作権保護のためデジタル放送は、B-CASカードを挿入していないと、スクランブルがかかって視聴することができません。
デジタル放送を視聴するときは、必ず、B-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
また、有料番組を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 **同封の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。**
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

2 **B-CASカードを挿入する。**

❶ 本機後面のB-CASカード挿入口のふたを開ける。

❷ B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

B-CASと書かれた面を本機後面側に向けて、印刷された矢印の方向に挿入する。

❸ B-CASカード挿入口のふたを閉める。

3 **同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。**

B-CAS

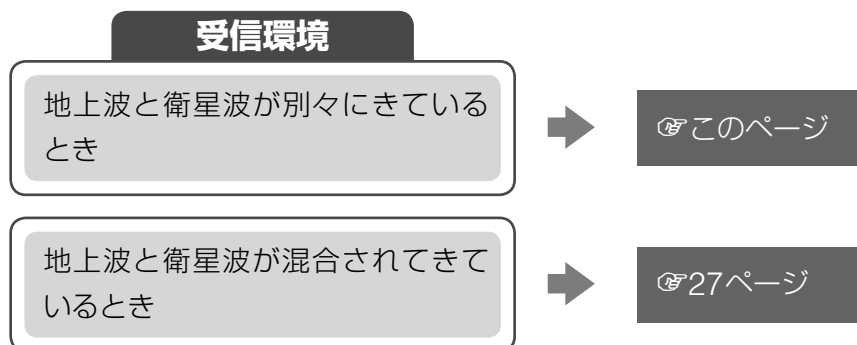
- B-CASは（株）ビーエス·コンディショナルアクセスシステムズの略称です。
- 各種サービスの利用やカード交換などをスムーズに行うため、B-CASにユーザー登録することをおすすめします。

アンテナをつなぐ

お客様の受信環境によって、つなぎかたが異なります。

受信環境

地上波と衛星波が別々にきているとき

地上波と衛星波が混合されてきているとき

本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

地上波と衛星波が別々にきているとき

地上アナログまたは地上デジタルをご覧になるときは地上波アンテナを、BSデジタルまたは110度CSデジタルをご覧になるときは衛星アンテナを本機につなぎます。つなぐ前に、アンテナの設置状況を確認してください。

地上デジタルを受信するには

UHFアンテナが必要です。VHFアンテナでは受信できません。
これまで使用していた地上アナログのUHF用アンテナを使用できる場合があります。ただし、地域によっては、アンテナの取り換えや方向の変更、ブースター(増幅器)の追加などが必要となることがあります。また、受信可能エリアであってもアンテナ設置状態、屋内配線状態でうまく映らなかったり、画面が乱れたりすることがあります。詳しくは、お買い上げ店などにご相談ください。

BSデジタルを受信するには

BSデジタルに対応している衛星アンテナや分配器、ブースター(増幅器)が必要となる場合があります。
すでにBSアナログ放送をご覧いただいているときは、お使いの衛星アンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルを本機で受信できます。
ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。特定のチャンネルが映らなかったり、受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。

110度CSデジタルを受信するには

110度CSデジタルに対応している衛星アンテナや分配器、ブースター(増幅器)が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げ店などにお問い合わせください。

アンテナ以外の接続

アンテナの接続以外にも必要に応じて下記の接続を行ってください。

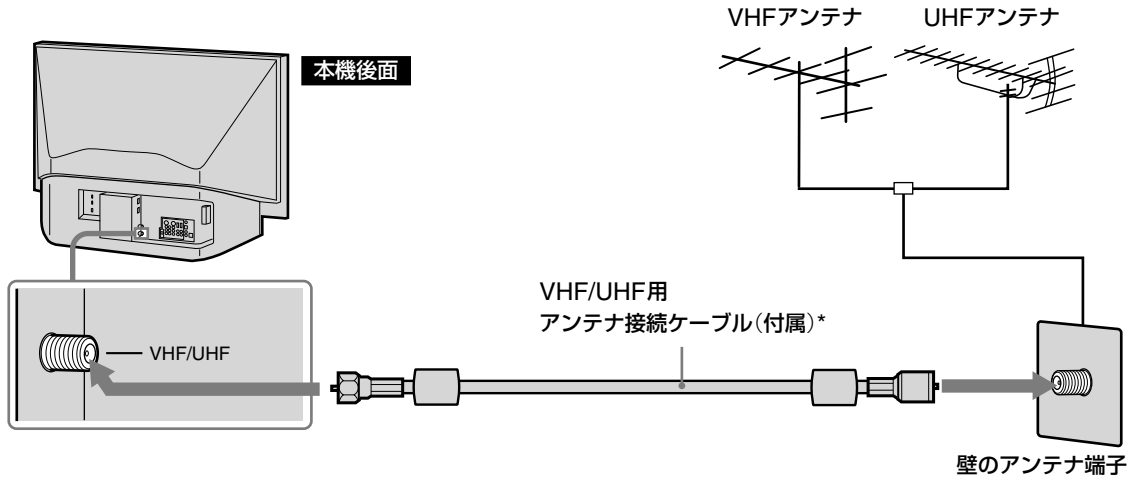
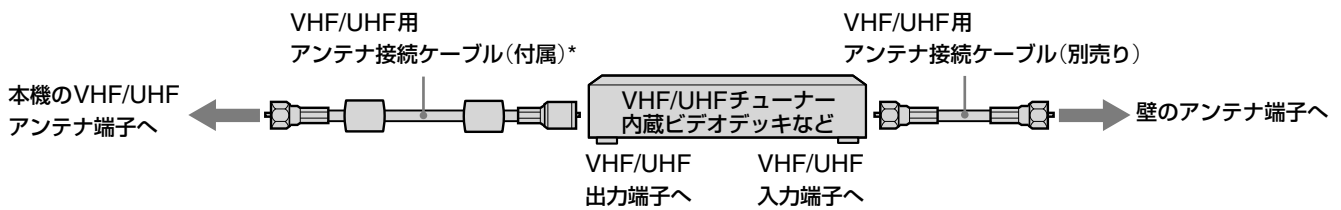
- 電話回線の接続
  有料放送や双方向サービスを楽しむときは、電話回線の接続が必要です。
  ▶53ページ 電話回線の接続と設定
- 他機器の接続
  DVDやビデオデッキなどお手持ちの機器で録画･再生するときは、接続が必要です。
  ▶36ページ 他の機器をつないでできること

地上デジタルのアンテナ工事について

お買い上げ店などにご相談ください。
特に、地上デジタル受信用に地上アナログ受信用とは別のアンテナを設置するときは、お買い上げ店やアンテナ工事業者とご相談の上、アンテナ混合器をお使いください。

ご注意

本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。電源を入れたまま衛星アンテナのアンテナ接続ケーブルをつなぐと、アンテナがショートし、本機からの衛星アンテナ用電源供給(コンバーター電源)が「切」になることがあります。

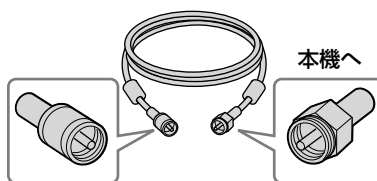
地上波アンテナをつなぐ

VHF/UHFチューナー内蔵ビデオデッキなどもつなぐときは

* 長さが足りないときは、市販のアンテナ延長ケーブルと付属の
アンテナ接続ケーブルを組み合わせてつないでください。

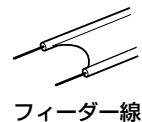
きれいな映像をお楽しみいただくために

下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHFアンテナ端子への接続は、付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使ってください。付属のケーブルにはノイズフィルターがついているため、きれいな映像をお楽しみいただけます。
- アンテナ接続ケーブルは他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、おすすめしません。

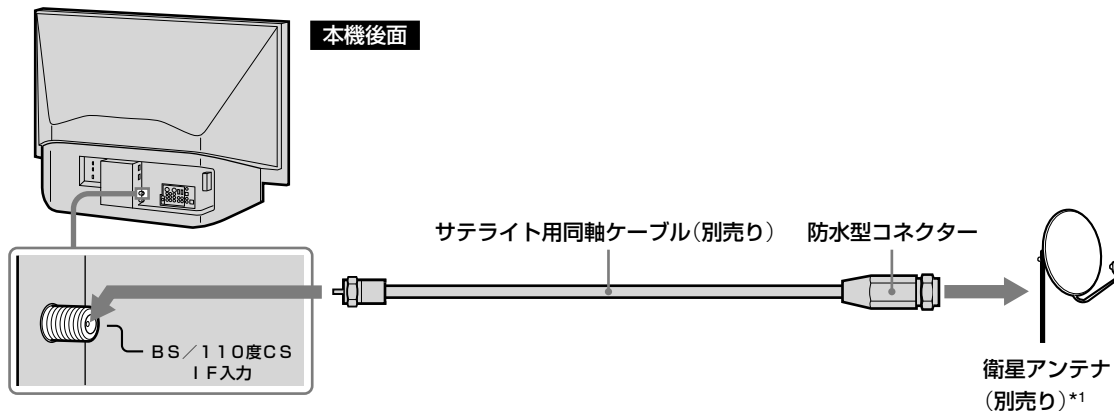
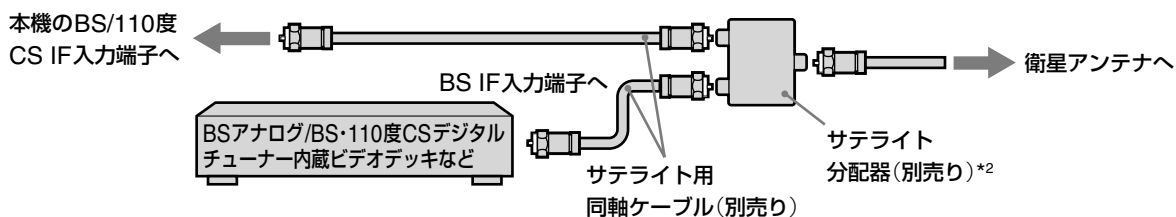
ご注意

- 地上波アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や使うケーブルによって異なります。上の例に当てはまらない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
- VHF/UHF用アンテナ接続ケーブルは、本機のVHF/UHFアンテナ端子にねじ込み式側を取り付けてください。

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

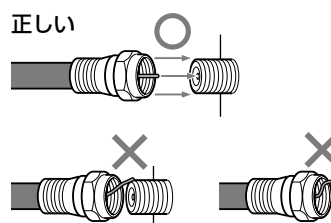
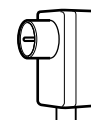
フィーダー線

次のページにつづく ⇨

アンテナをつなぐ(つづき)

衛星アンテナをつなぐ

衛星アンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。

BSアナログ/BS・110度CSデジタルチューナー内蔵ビデオデッキなどもつなぐときは

*1 推奨BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ:
SAN-40BK1、SAN-40B1、SAN-50B1
*2 EAC-DSD12またはEAC-DSD13など。110度CSデジタルに対応しているものを選んでください。

ご注意

- BS/110度CS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。BS/110度CS IF入力端子からは衛星アンテナ用の電源(DC15/11V)が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ(別売りのEAC-DSD12またはEAC-DSD13など)を必ずお使いください。
- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
アンテナコネクターのふたを開けて、内部も確認してください。

- 「衛星アンテナがショートしたため　衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました　取扱説明書をご覧ください」という表示が出て、本機前面の電源/スタンバイランプが緑色に点滅すると、「衛星アンテナ電源」が自動的に「切」になります。「故障かな？と思ったら」(☞「操作編」86ページ)をご覧になり、対処してください。
- 衛星アンテナからビデオデッキを経由して本機のBS/110度CS IF入力端子につないだ場合、110度CSデジタルを受信できないことがあります。

地上波と衛星波が混合されてきているとき

地上波（地上アナログ、地上デジタル）と衛星波（BS･110度CSデジタル）を分波器を使って分波してつなぎます。つなぐ前に、受信状況を確認してください。

マンションなどの共同受信システムのときは

マンション管理会社に、地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタルに対応しているかを確認してください。共同受信システムが対応していれば、地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタルを受信できます。詳しくは、マンション管理会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ（CATV）に加入しているときは

受信契約をされているケーブルテレビ放送会社に、地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタルに対応しているかを確認してください。
なお、ケーブルテレビでは、地上デジタル放送を伝送する方式として、同一周波数パススルー方式、トランスモジュレーション方式があります。どの伝送方式でサービスされるかは、ケーブルテレビ放送会社により異なりますので、詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。本機は、同一周波数パススルー方式、および周波数変換パススルー方式ともにすべての周波数に対応しています。

送信方式	内容
パススルー方式	受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式。
同一周波数パススルー方式	地上デジタル放送が使用するUHF帯の電波を、放送の周波数のままでケーブルテレビ網に再送信する方式。変換後の周波数がUHF帯以外の帯域の場合は、UHF帯以外の帯域まで受信範囲が拡大されている地上デジタル放送対応テレビまたは、外付けの地上デジタル放送対応チューナーが必要です。
周波数変換パススルー方式	受信した地上デジタル放送波を、放送の周波数とは異なる周波数に周波数変換してケーブルテレビ網に再送信する方式。
トランスモジュレーション方式	受信した地上デジタル放送波を、ケーブルテレビに適した変調方式に変換して伝送する方式。ケーブルテレビ専用のSTB（セットトップボックス）をつなぐことにより、地上デジタルチューナーがないテレビでも受信が可能です。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

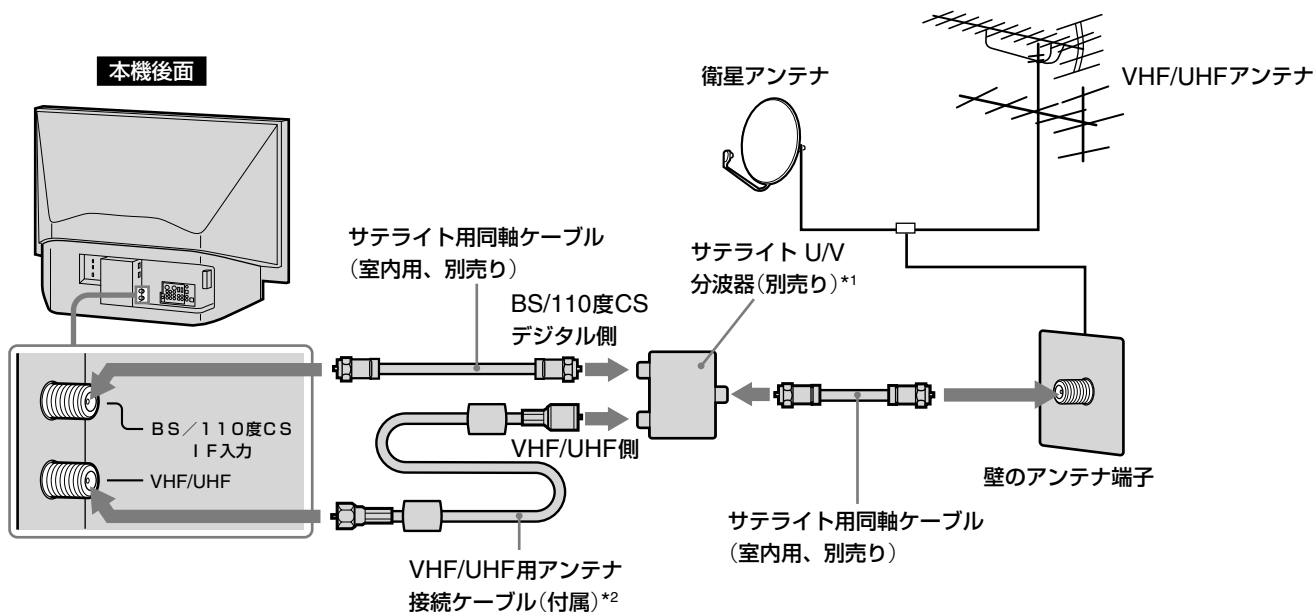
デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定（☞67ページ）を行ってください。

* SKY PerfecTV!のことです。110度CSデジタルではありません。

次のページにつづく ⇨

アンテナをつなぐ（つづき）

地上波と衛星波が混合された端子につなぐ

*1 EAC-DSSM2など

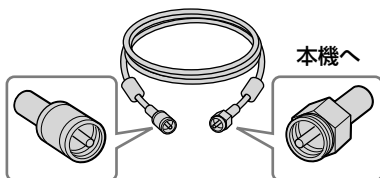
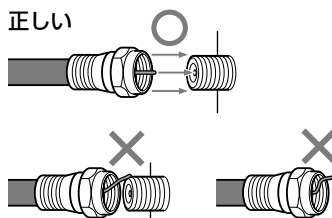
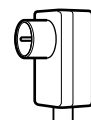
*2 **付属のアンテナ接続ケーブルをお使いください。付属のケーブルにはノイズフィルターがついているため、きれいな映像をお楽しみいただけます。**長さが足りないときは、市販のアンテナ延長ケーブルと付属のアンテナ接続ケーブルを組み合わせてつないでください。

マンションなどの共同受信システムのときは

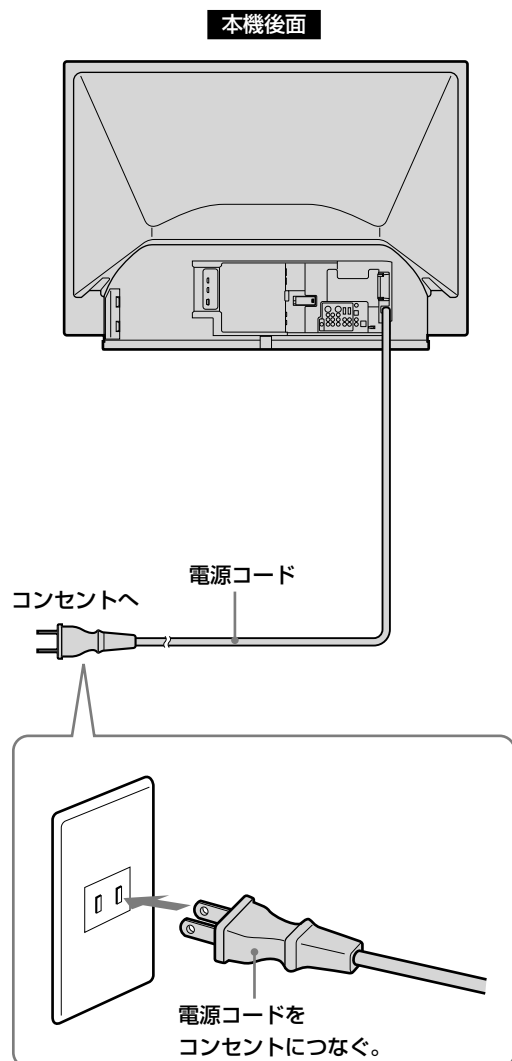
メニューで「衛星アンテナ電源」を「切」にしてください。

67ページ　衛星アンテナへの電源の供給を変更する

ご注意

- VHF/UHF用アンテナ接続ケーブルは、本機のVHF/UHFアンテナ端子にねじ込み式側を取り付けてください。

- BS/110度CS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。BS/110度CS IF入力端子からは衛星アンテナ用の電源（DC15/11V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りのEAC-DSD12またはEAC-DSD13など）を必ずお使いください。
- 衛星アンテナからの配線の途中に複数のサテライト分配器を使用している場合、信号が減衰してBSデジタルが受信できなくなることがあります。その場合には衛星波の配線を施工した業者にご相談ください。
- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
  アンテナコネクターのふたを開けて、内部も確認してください。

- 「衛星アンテナがショートしたため　衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました　取扱説明書をご覧ください」という表示が出て、本機前面の電源/スタンバイランプが緑色に点滅すると、「衛星アンテナ電源」が自動的に「切」になります。「故障かな？と思ったら」（☞「操作編」86ページ）をご覧になり、対処してください。
- 衛星波のケーブルを、ビデオデッキを経由して本機のBS/110度CS IF入力端子につないだ場合、110度CSデジタルを受信できないことがあります。

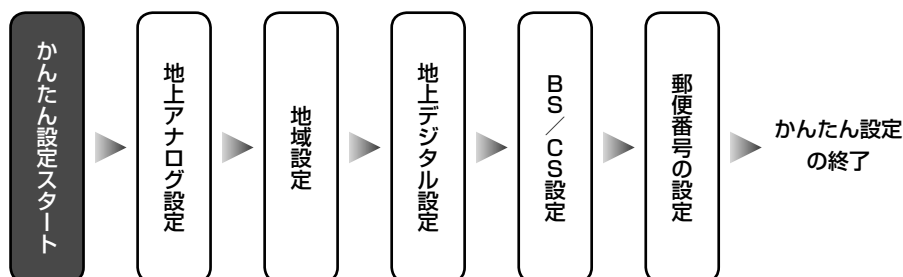
電源コードをつなぐ

すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつなぎます。

ご注意

ビデオデッキなどの機器をつなぐときも、
すべての接続が終わってから、電源コー
ドをコンセントにつないでください。

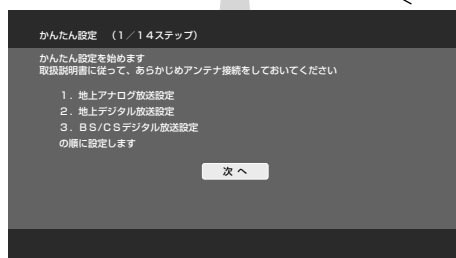
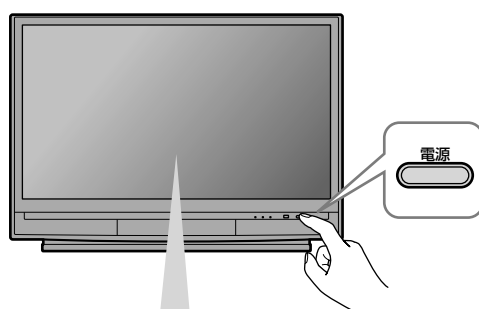
かんたん設定をする

地上アナログ、地上･BS･110度CSデジタルの受信設定は、「かんたん設定」で一度に行えます。画面のメッセージに従い、リモコンで設定してください。

「かんたん設定」の流れ

使用するリモコンボタン

地上デジタルが放送開始されていない地域では、放送開始されてからかんたん設定をやり直してください(☞35ページ)。地上アナログの設定を変更したくないときは、手順2で「いいえ」を選んでください。

かんたん設定スタート

1 かんたん設定を始める

1 テレビ本体の電源スイッチを押す。

本機前面の電源/スタンバイランプが緑色に点灯します。

はじめてテレビ本体の主電源を入れると、「かんたん設定」の開始画面が表示されます。

2 決定を押す。

地上アナログ設定

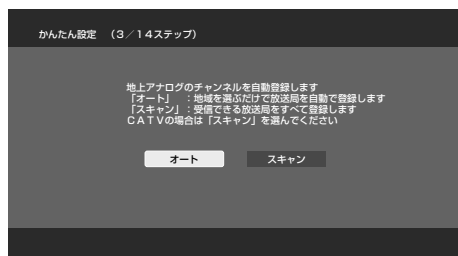
2 地上アナログの受信設定を始める

「はい」または「いいえ」を←→で選び、決定を押す。

地上アナログ放送をご覧にならない場合は、設定せずに次に進むこともできます。

はい	設定する
いいえ	設定しない

地上デジタルが放送開始されてから設定し直すときは、「いいえ」を選ぶと地上アナログの設定をとばすことができます。

3 チャンネルの自動登録方法を選ぶ

「オート」または「スキャン」を←→で選び、決定を押す。

地上アナログ放送のチャンネルの自動登録は2つの方法から選べます。

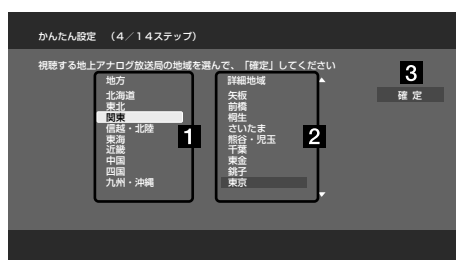
オート	地域を選んで登録する（☞71ページ）
スキャン	受信できる放送局をすべて登録する（チャンネルスキャン）

スキャンのほうが効果的な場合

次の場合はスキャンをおすすめします。

- 隣接地域の放送も受信したいとき
- 「地上アナログ放送の地域別チャンネル表」（☞71ページ）に該当する地域名がないとき
- ケーブルテレビ（CATV）のとき

4 チャンネルの自動登録をする

オートを選んだ場合

1 「地方」を↑↓で選び、決定を押す。

2 「詳細地域」を↑↓で選び、決定を押す。

3 内容を確認して、決定を押す。

地方を選ぶと、詳細な地域が表示され、放送局のある地域を選べます。

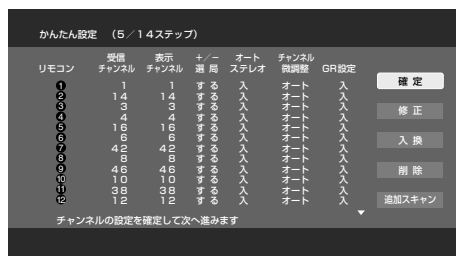
スキャンを選んだ場合

チャンネルスキャンには時間がかかります。
終了するまでお待ちください。

次のページにつづく ⇨

かんたん設定をする（つづき）

地上アナログ設定

5 登録されたチャンネルを確認する

内容を確認して、決定を押す。

自動登録されたチャンネルが表示されます。
登録されたチャンネルを手動で修正することもできます。

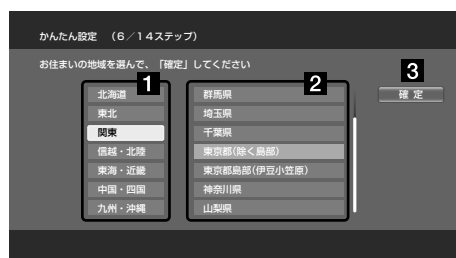
確定	チャンネルを確定する
修正	手動で修正する （☞61ページ）
入換	手動で行を入れ換える （☞61ページ）
削除	手動で削除する （☞63ページ）
追加スキャン	スキャンしてチャンネルを追加する （☞63ページ）

追加スキャンが効果的な場合

次の場合は「追加スキャン」を行ってください。

- 手順3で「オート」を選び、他にも受信したいチャンネルがあるとき

地域設定

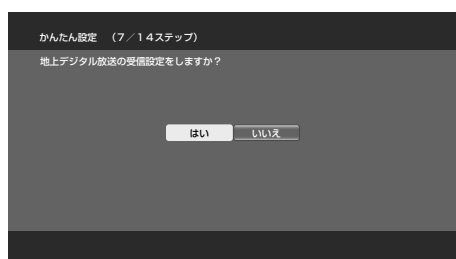
6 デジタル放送用の地域設定をする

1 広域地域を↑↓で選び、決定を押す。

2 県域を↑↓で選び、決定を押す。

3 内容を確認して、決定を押す。

広域地域を選ぶと、県域が表示され、お住まいの地域を選べます。
地上アナログ設定ですでに地域を選んだときは、該当する地域が表示されるので、確認してください。

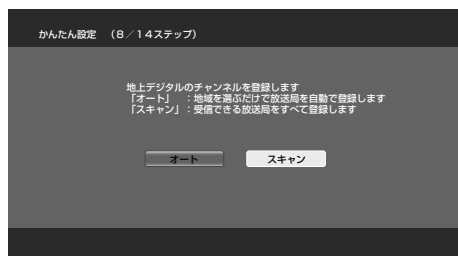
地上デジタル設定

7 地上デジタルの受信設定を始める

「はい」または「いいえ」を←→で選び、決定を押す。

地上デジタル放送をご覧にならない場合は、設定せずに次に進むこともできます。

はい	設定する
いいえ	設定しない

手順11へ進む

8 チャンネルの自動登録をする

「オート」または「スキャン」を⇔で選び、決定を押す。

地上デジタル放送のチャンネルの自動登録は2つの方法から選べます。

オート	手順6で選んだ地域で自動登録する → 手順11へ進む
スキャン	受信できる放送局をすべて登録する（チャンネルスキャン）

スキャンのほうが効果的な場合

次の場合はスキャンをおすすめします。

- 隣接地域の放送も受信したいとき
- ケーブルテレビ（CATV）のとき

ご注意

地域が下記のいずれかの場合は、手順8の画面は表示されません。手順9に進んでください。

- スキャンが必要な地域
- 手順4で地域が選ばれていない
- 手順4で選ばれた地域が、手順6で選んだ地域と違う

9 チャンネルをスキャンする

「UHF」または「CATV」を⇔で選び、決定を押す。

UHF	UHFアンテナで受信する
CATV	ケーブルテレビの配信で受信する

チャンネルスキャンには時間がかかります。
終了するまでお待ちください。

次のページにつづく ⇨

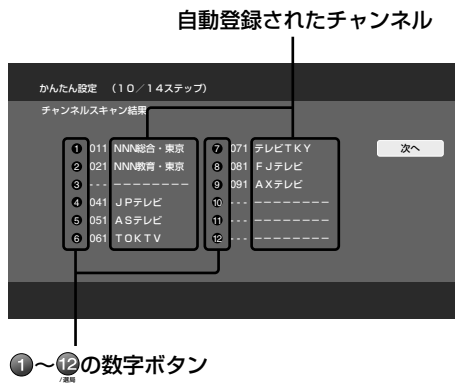
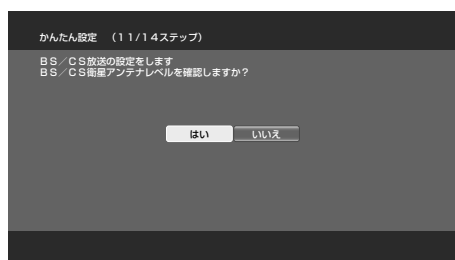
かんたん設定をする（つづき）

地上デジタル設定

10 登録されたチャンネルを確認する

内容を確認して、決定を押す。

自動登録されたチャンネルが表示されます。

BS／CS設定

11 BS・110度CSデジタルのアンテナレベルを確認する

「はい」または「いいえ」を←→で選び、決定を押す。

BS·110度CSデジタル放送をご覧にならない場合や、衛星アンテナを調整しない場合は、先に進むことができます。

はい	衛星アンテナレベルを調整する
いいえ	衛星アンテナレベルを調整しない

手順13へ進む

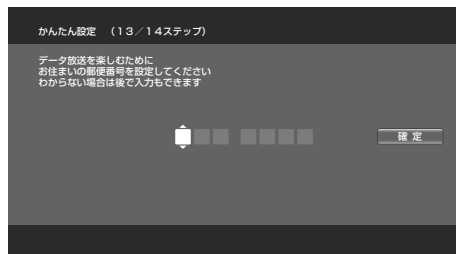
12 アンテナレベルを調整する

内容を確認して、決定を押す。

アンテナレベルが低いときは、できるかぎり最大値に近くなるように、衛星アンテナの向きを調整し固定します。

衛星アンテナの向きの調整について詳しくは衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。

郵便番号の設定

13 郵便番号を設定する

1 リモコンの①～⑩までの数字ボタンで、お住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を入力する。

2 内容を確認して、決定を押す。

お住まいの地域に密着した情報のデータ放送を受信するために、郵便番号を設定してください。

かんたん設定の終了

14 かんたん設定を終了する

決定を押す。

これで設定した放送を見ることができるようになりました。
本機に他機器を接続する場合は「他の機器をつないでできること」（☞36ページ）に進んでください。
また、必要に応じて有料放送や双方向サービスを楽しむときは、「電話回線の接続と設定」（☞53ページ）を行ってください。

かんたん設定をあとでやり直すには

1. メニュー（メニュー）を押す。
2. 「テレビの設定をする」を▲▼で選び、決定を押す。
3. 「(各種設定)」を▲▼で選び、決定を押す。
4. 「かんたん設定」を▲▼で選び、決定を押す。
5. 30ページの手順1からやり直す。

他の機器をつないでできること

他の機器をつないで映像や音声を楽しんだり、本機で受信した番組を録画機器で録画することができます。
また、オーディオ機器をつないで高音質で楽しめます。

HDMIケーブル

D映像コード、音声コード

つないだ機器の映像を見るための接続と設定（38ページ）

HDMI入力につなぐ（☞38ページ）

- DVDプレーヤー
- DVDレコーダー
- DVDレコーダー複合機
- ブルーレイディスクレコーダー(BD)
- テレビゲームなど

コンポーネント入力（D4映像/音声）につなぐ（☞39ページ）

- DVDプレーヤー
- DVDレコーダー
- DVDレコーダー複合機
- ブルーレイディスクレコーダー(BD)
- テレビゲームなど

ビデオ入力（S2映像/映像/音声）につなぐ（☞40ページ）

- ビデオデッキ
- DVDプレーヤー
- デジタルCSチューナー（SKY PerfecTV!）など

S映像・音声コードまたは
映像・音声コード

AVマウス

本機の映像を録画するための接続と設定（41ページ）

デジタル放送/ビデオ出力につなぐ（シンクロ録画）（☞42ページ）

- ビデオデッキ
- DVDレコーダー
- DVDレコーダー複合機
- ブルーレイディスクレコーダー(BD)
  など

AVマウス端子とデジタル放送/ビデオ出力につなぐ（AVマウス録画）（☞42ページ）

- ビデオデッキ
- DVDレコーダー
- DVDレコーダー複合機
- ブルーレイディスクレコーダー(BD)
  など

Mini D-Sub15 - Mini D-Sub15
ディスプレイケーブル、
音声コード

パソコン（PC）の画像を見るための接続（52ページ）

PC入力につなぐ（☞52ページ）

- パソコン

その他の接続端子

- VHF/UHFアンテナ端子、BS/110度CS IF入力端子
  （「アンテナをつなぐ」☞24ページ）
- 電話回線端子
  （「電話回線の接続と設定」☞53ページ）
- LAN（10/100）端子
  （「さらに快適に双方向サービスを楽しむための接続と設定」☞56ページ）

本機後面
本機前面
HDMI 入力
RGB
入力
PC入力
HDMI 2 入力
ビデオ2入力
映像
左-音声-右
映像・音声コード
S映像・音声コードまたは
映像・音声コード
ビデオ入力（映像/音声）につなぐ
（☞40ページ）
● ビデオカメラレコーダー
● テレビゲームなど
HDMI入力につなぐ（☞38ページ）
HDMIケーブル
● デジタルHDビデオカメラレコーダー
● テレビゲームなど
つないだ機器の映像を見るための接続と設定（38ページ）
他の機器をつなぐ
（ビデオ ID-1システム）
S2 映像
D4 映像
D4 映像
AVマウス
光デジタル音声
出力
映像
左
音声
右
音声
入力
電話回線
PC
入力
ビデオ入力
デジタル放送
/デジタル出力
コンポーネント入力
音声出力
（可変/固定）
回線
光デジタル
接続コード
音声コード
オーディオ機器で音声を聞くための接続と設定（49ページ）
光デジタル音声出力端子につなぐ
（☞50ページ）
● AVアンプ
● サンプリングレートコンバーター
内蔵のMDデッキなど
音声出力端子につなぐ
（☞51ページ）
● AVアンプ
● MDデッキなど

つないだ機器の映像を見るための接続と設定

高画質で楽しむために

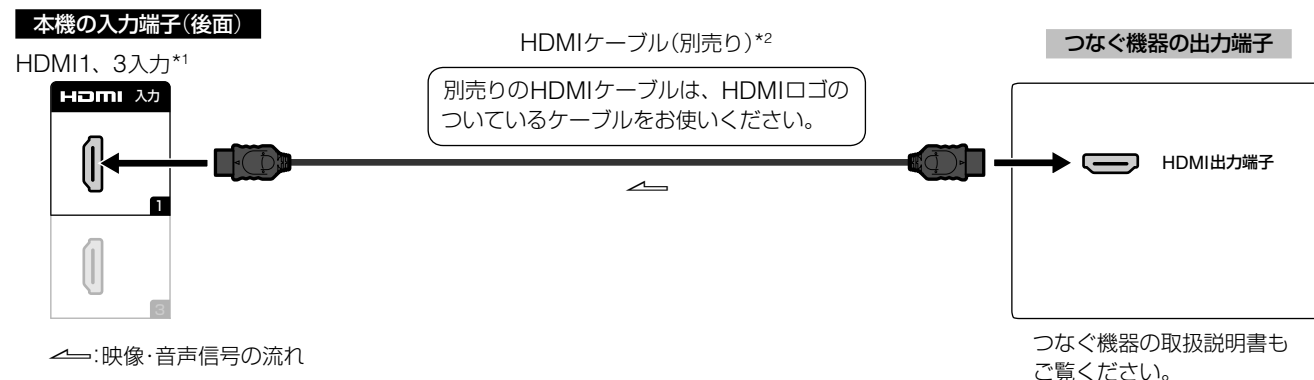
接続する端子の種類によって、再生される映像の画質が異なります。つなぐ機器の映像出力端子によって、より高画質の入力端子を選んでください。

外部入力名	映像入力端子	画質	映像
HDMI1 ～ 3入力	HDMI端子	高	ハイビジョン映像や高画質録画の映像が再生できます。
コンポーネント1、2入力	D4映像端子*		
ビデオ1 ～ 3入力	S2映像端子		映像端子よりもノイズの少ないきれいな映像が再生できます。
	映像端子	標準	標準画質の映像で再生されます。

* D端子コンポーネントビデオコードを使って、コンポーネント映像出力端子を持つ録画・再生機器とつなげます。

HDMI入力につなぐ

:映像・音声信号の流れ

つなぐ機器の取扱説明書もご覧ください。

*1 本機前面のHDMI2入力にもつなげます。
*2 DLC-HM30など

ご注意

- HDMI入力の音声はPCM信号(32kHz、44.1kHz、48kHz)にのみ対応しています。
- HDMI入力につないだ機器の映像がきれいに映らなかったり、音が出ないときは、つないだ機器側の設定を確認してください。

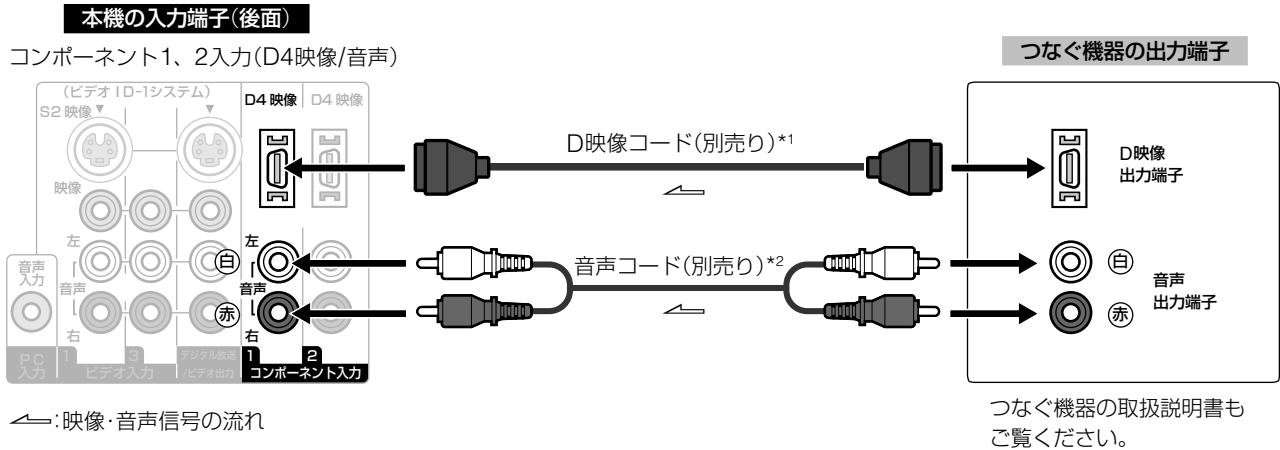
HDMI入力にDVI端子搭載機器をつなぐとき

- DVI-HDMI変換用のケーブルをお使いください。ただし、パソコンとの接続は保証していません。
- 一部の機器では映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。

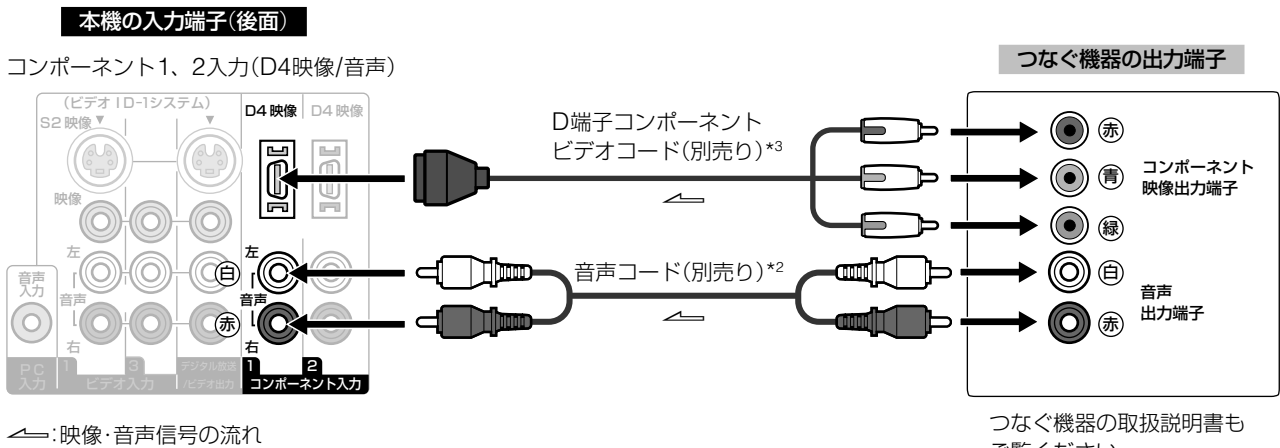
コンポーネント入力につなぐ

つなぐ機器にD映像出力端子があるとき

:映像·音声信号の流れ

つなぐ機器の取扱説明書もご覧ください。

つなぐ機器にコンポーネント映像出力端子があるとき

:映像·音声信号の流れ

つなぐ機器の取扱説明書もご覧ください。

*1 VMC-DD30CVなど
*2 RK-C330など
*3 VMC-DP30CVなど

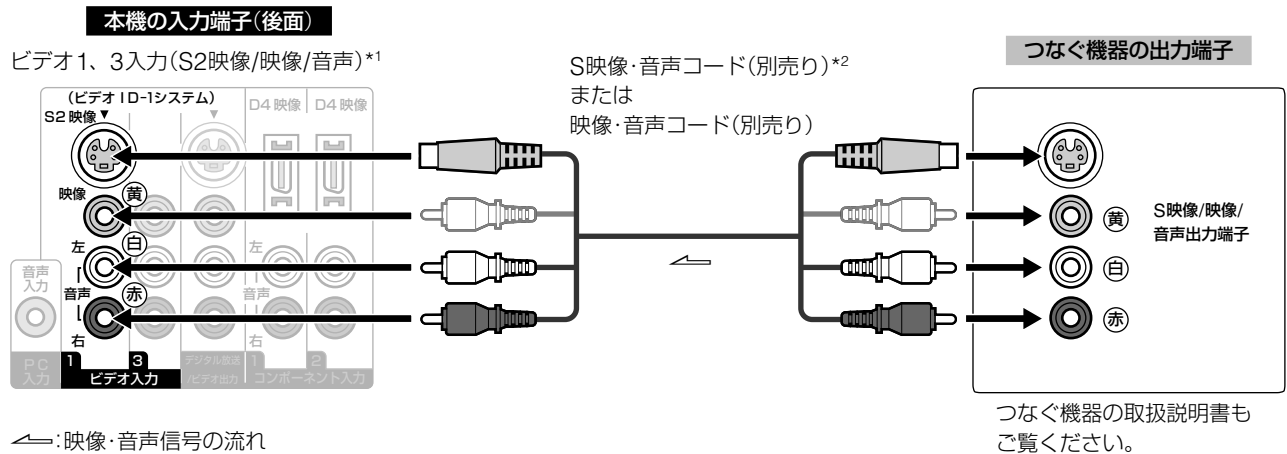
次のページにつづく ⇨

D映像入力端子につなぐ機器の設定

- 本機はD4映像入力に対応しています。つなぐ機器のD映像出力を「D4」に設定してください。
- つなぐ機器がD4映像出力に対応していない場合は、Dに続く数字の大きい方に設定してください(例:「D3」と「D1」に対応しているときは「D3」に設定する)。

詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

つないだ機器の映像を見るための接続と設定(つづき)

ビデオ入力につなぐ

*1 本機前面のビデオ2入力にもつなげます。
*2 YC-830Sなど

S2映像入力端子の設定をする

ビデオ1入力の映像信号を映像またはS2映像のどちらの端子から入力するかを設定します。

1. (メニュー)を押す。
2. 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。
3. 「(各種設定)」を↑↓で選び、決定を押す。
4. 「オートS映像」を↑↓で選び、決定を押す。
5. 「入」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。

入	S2映像入力端子から入力します。
切	映像入力端子から入力します。

ビデオ1入力の出力設定をする

ビデオ1入力につないだ機器の映像や音声を、本機のデジタル放送/ビデオ出力から出力するかどうかを設定します。

1. (メニュー)を押す。
2. 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。
3. 「(各種設定)」を↑↓で選び、決定を押す。
4. 「ビデオ出力設定」を↑↓で選び、決定を押す。
5. 「ビデオ1あり」または「ビデオ1なし」を↑↓で選び、決定を押す。

ビデオ1あり	ビデオ1入力につないだ機器の映像や音声を、デジタル放送/ビデオ出力から出力します。ビデオ1入力につないだ機器と、デジタル放送/ビデオ出力につないだ機器が違うときに選びます。
ビデオ1なし	ビデオ1入力につないだ機器の映像や音声を、デジタル放送/ビデオ出力から出力しません。ビデオ1入力につないだ機器と、デジタル放送/ビデオ出力につないだ機器が同じときに選びます。

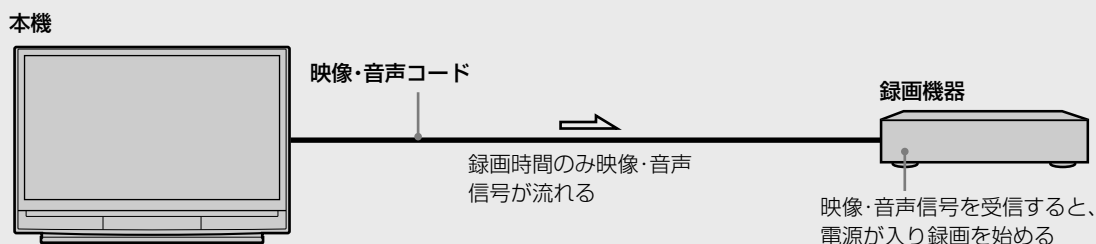
本機の映像を録画するための接続と設定

本機のみでの録画はできませんが、本機と録画機器をつなげば、**デジタル放送を録画できます。**地上アナログ放送は録画できません。録画方法はシンクロ録画とAVマウス録画の2種類があり、接続や設定をする前に、録画方法を選んでください。

シンクロ録画

本機で録画予約すると、録画機器に映像･音声信号が送られ、録画を始める機能です。録画機器がシンクロ録画に対応しているかは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

映像･音声信号の出力について

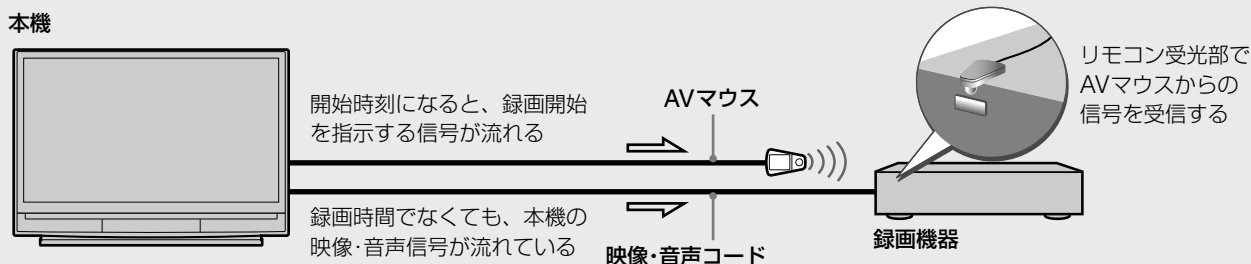
録画機器からではなく本機からシンクロ録画設定すると、録画設定した時間のみ映像･音声信号が出力されます。

録画機器にシンクロ録画機能がないときは…

AVマウス録画

付属のAVマウスをつないで録画する機能です。本機で録画予約すると、AVマウスを通して録画機器に録画開始を指示する信号(リモコン信号)が流れ、録画を始めます。

ご注意

次のときはAVマウスは使えません。お手持ちの録画機器の予約機能を使って録画予約してください。

– ビデオ一体型テレビ(テレビデオやビデオコンボなど)のとき
– AVマウスの設定をしても録画機器が操作できないとき(メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているためです。☞45ページ)
– 電源スイッチが入/切の2つの状態切換でなく、入/スタンバイ/切など3つの状態切換になる録画機器のとき

次のページにつづく ⇨

ご注意

一部のソニー製HDD搭載DVDレコーダー(PSX)は、シンクロ録画にもAVマウス録画にも対応していません。

録画制限や著作権について

デジタル放送では、番組によって録画制限があります。

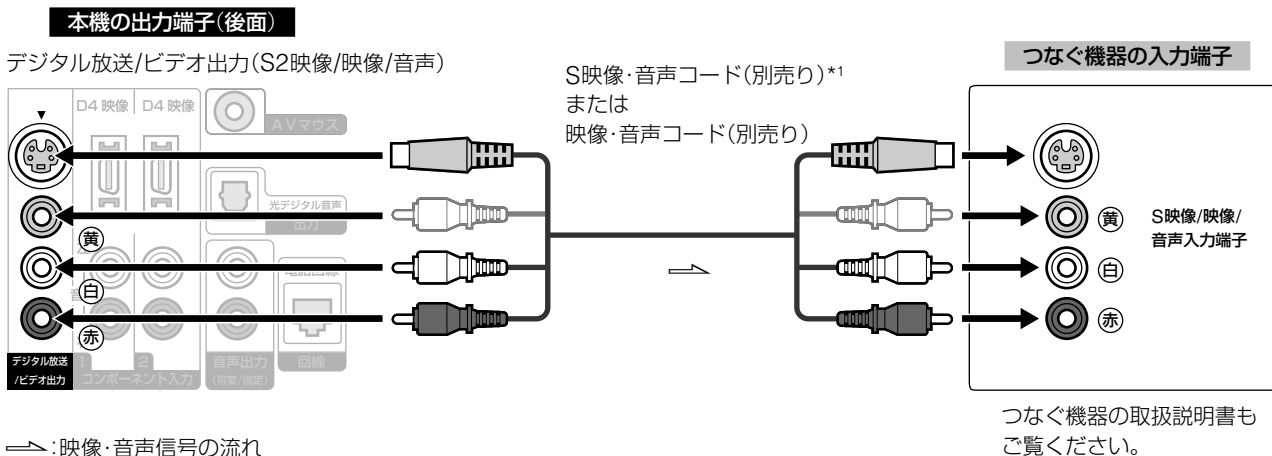
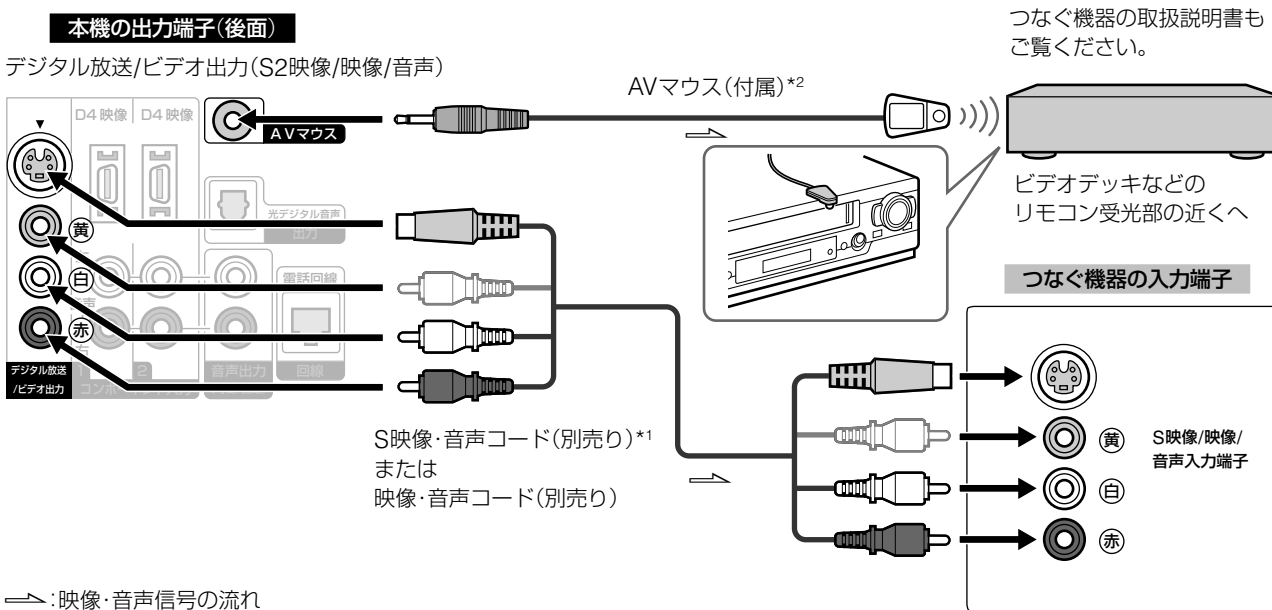
操作編 67ページ 録画制限と著作権保護

録画映像の画質

デジタルハイビジョン信号HDは標準テレビ信号SDと同等の画質になります。

本機の映像を録画するための接続と設定（つづき）

デジタル放送/ビデオ出力につなぐ

シンクロ録画機能で録画・予約するとき

AVマウスを使って録画・予約するとき

*1 YC-830Sなど
*2 AVマウスの取り付けについては、
「AVマウスを設定する」（☞45ページ）もご覧ください。

ご注意

シンクロ録画機能を使って録画予約するときは、AVマウスをつながないでください。

デジタル放送/ビデオ出力から出力される映像・音声信号

- コンポーネント入力、HDMI入力につないだ機器の映像・音声信号は出力されません。
- 字幕放送の字幕は出力されません。
- デジタル放送のラジオやデータの音声は出力できますが、画像は正しく出力されません。
- S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ1入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。

録画・予約をするための設定をする

シンクロ録画やAVマウス録画の設定をします。

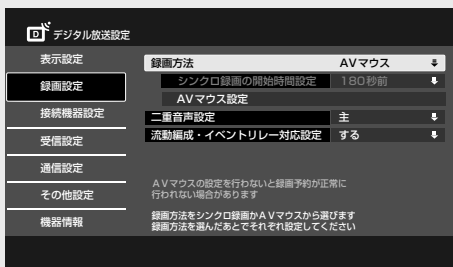
1 メニュー（メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「D（デジタル放送設定）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「録画設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

録画方法	**シンクロ録画**：本機後面のデジタル放送/ビデオ出力に、シンクロ録画に対応した録画機器をつないでいるときに選びます。シンクロ録画とは、録画機器に映像･音声信号が入力されると、自動的に録画を始める機能です。 **AVマウス**：AVマウスをつないで録画予約するときに選びます。
シンクロ録画の開始時間設定	「録画方法」で「シンクロ録画」を選んだときに設定します。 **30秒前/60秒前/90秒前/120秒前/180秒前/240秒前**：録画機器によっては、映像･音声信号が入力されてから録画開始までに時間がかかることがあるため、録画開始時刻よりも早く信号入力を始めるように設定できます。 **設定の目安** **30秒前**：ビデオデッキなど **90秒前**：ハードディスクレコーダーなど **180秒前**：DVDレコーダー、DVDレコーダー複合機など 上記の時間はあくまでも目安です。お使いの機器で録画を試し、最適な時間を設定してください。
AVマウス設定	「録画方法」で「AVマウス」を選んだときに設定します。「AVマウスを設定する」（☞45ページ）をご覧ください。
二重音声設定	「**主**」/「**副**」/「**主/副**」：本機後面のデジタル放送/ビデオ出力から出力される音声は、録画中はここで選んだ音声に固定されます。スピーカーから出る音声も、録画中はここで選んだ音声に固定されます。

次のページにつづく ⇨

ご注意

- 「録画方法」で「シンクロ録画」を選ぶと、予約した録画の実行中のみデジタル放送/ビデオ出力から映像･音声信号が出力されます。
- 「シンクロ録画の開始時間設定」は、ご使用の機器や録画するテープ、ディスクによって異なります。設定によっては冒頭部分が欠けたり、余分に録画されることがあります。
- 他機器でフォーマットしたディスクに録画する場合は録画開始までに時間がかかることがあります。「シンクロ録画の開始時間設定」を変更してください。

本機の映像を録画するための接続と設定（つづき）

流動編成・イベントリレー対応設定	**する**：予約した番組に次のような変更があったとき、放送局が送信する放映時刻情報を本機が検知して、その変更に合わせて予約が実行されるように設定できます。 ● 開始時刻が遅れたとき 例：野球の延長などで開始時刻がくり下がったとき ● 放送中に中断や割込みがあったとき ● 放送時間内に終わらず、引き続き他のチャンネルで放送するとき（イベントリレー） ● 終了時刻が延長されたとき **しない**：放送時間の変更やイベントリレーには対応しません。

ご注意

- 「流動編成・イベントリレー対応設定」を「しない」に設定したときは、予約自体が取り消されることがあります。
- 「流動編成・イベントリレー対応設定」で「する」を選んでも、次のようなときは流動編成に対応しません。
  - 放送局が放映時刻情報を送信しない番組のとき
  - 予約した番組が予定より早く始まったとき（早まった時間は、録画されません。）

AVマウスを設定する

AVマウスから送信されるリモコン信号（録画指示情報）を、録画機器で受信するための設定をします。リモコン信号は、録画機器に採用されているリモコンコードによって異なります。そのため、録画機器のリモコンコードを本機に設定し、録画機器に合ったリモコン信号を送信できるようにします。

設定の流れ

1 AVマウスを準備する
AVマウスの取り付け予定位置を決めます。

2 リモコンコードを設定する
録画機器のリモコンコードを本機に設定します。

3 録画機器の入力を設定する（一部の機器のみ）
録画予約開始時に録画機器の入力が自動で切り換わるように設定します。

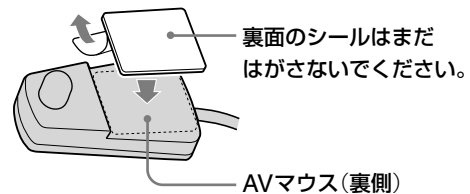
4 動作テストをする
録画機器でリモコン信号が受信できるかどうかをテストします。

5 AVマウスを固定する
動作テストが成功したら、AVマウスを固定します。

設定完了

1 AVマウスを準備する。

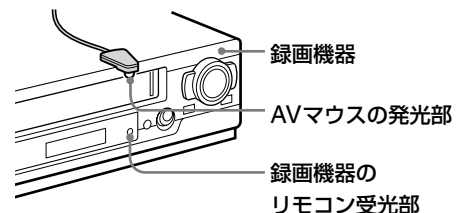
1 AVマウスに付属のシールを貼る。

AVマウスに付属のシールのかわりに、市販の両面テープも使えます。

2 AVマウスを本機後面のAVマウス端子につなぐ（☞42ページ）。

3 AVマウスの取り付け予定位置を決める。

録画機器の取扱説明書で録画機器のリモコン受光部位置を確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意

- AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。
- 取り付け位置によっては、動作しにくい録画機器があります。できるだけ受光部に近い位置に取り付けてください。

4 録画機器の電源を切っておく。

次のページにつづく ⇨

AVマウスが録画機器に届かないとき

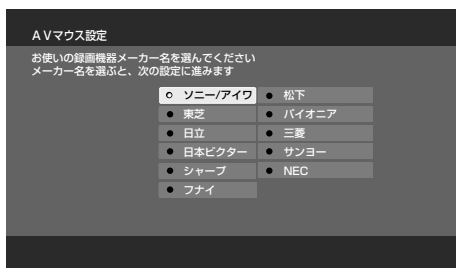
別売りの接続コード RK-G131（3m）で延長してください。

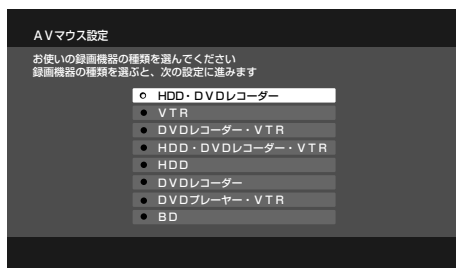
本機の映像を録画するための接続と設定（つづき）

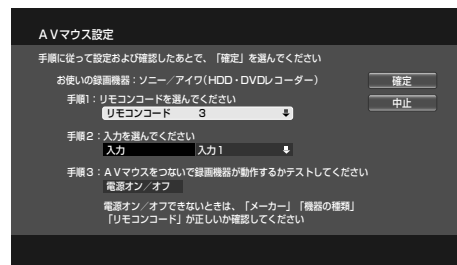
2 リモコンコードを設定する。

1 (メニュー)（メニュー）を押して、「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「録画設定」→「AVマウス設定」の順に選ぶ。

2 お使いの録画機器のメーカー名を↑↓←→で選び、決定を押す。

「ソニー/アイワ」または「松下」、「東芝」、「日本ビクター」以外のメーカーを選んだときは、手順2-4に進んでください。

3 お使いの録画機器の種類（☞48ページ）を↑↓←→で選び、決定を押す。

例：「ソニー/アイワ」を選んだとき

4 「リモコンコード」欄が選ばれていることを確認して、決定を押す。

例：「HDD・DVDレコーダー」を選んだとき

5 リモコンコード（☞48ページ）を↑↓で選び、決定を押す。

次の場合は手順4に進んでください。

– 手順2-2で「ソニー/アイワ」以外のメーカーを選んだとき

– 手順2-2で「ソニー/アイワ」を選び、手順2-3で「VTR」または「DVDレコーダー·VTR」、「HDD·DVDレコーダー·VTR」、「DVDプレーヤー·VTR」を選んだとき

3 録画機器の入力を設定する。

手順2-2で「ソニー/アイワ」を選び、手順2-3で「HDD·DVDレコーダー」または「HDD」、「DVDレコーダー」、「BD」を選んだときのみ設定します。

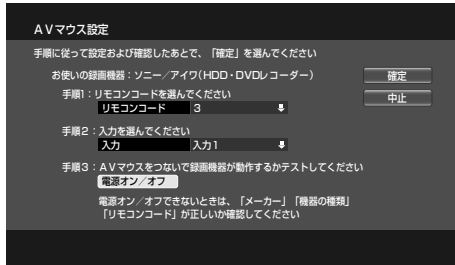
1 「入力」を↑↓で選び、決定を押す。

2 「入力1」〜「入力3」*のいずれかを↑↓で選び、決定を押す。

本機をつないだ入力を選んでください。録画予約開始時に自動的に入力も切り換わります。

* 手順2-3で「BD」を選んだときは、「入力3」は表示されません。

4 動作テストをする。

1 「電源オン／オフ」を↑↓で選び、決定を押す。

AVマウスの動作テストが始まります。
録画機器の電源が自動的に入れば、テストは完了です。手順4-2に進んでください。電源が入らないときは、以下を行ってみてください。

- 手順1-3でAVマウスの位置を再確認してから、もう一度手順4-1を行う。
- ビデオデッキにリモコンコードが2個以上あるときは、手順2-4～4-1をくり返して、録画機器を操作できるまで、リモコンコードの設定を変えてテストする。

ご注意

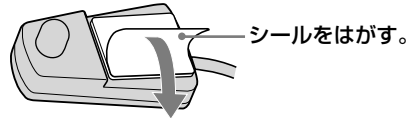
メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているため、AVマウスのリモコンコードで録画機器を操作できないときがあります。その場合は、お手持ちの録画機器の予約機能を使って録画予約してください。

2 「電源オン／オフ」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

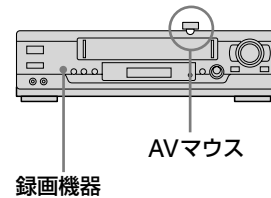
録画機器の電源が切れます。

3 「確定」を→で選び、決定を押す。

5 AVマウスを固定する。

1 動作テストが終わったら、AVマウスの裏面のシールをはがす。

2 手順1-3で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。

無料番組などで録画予約できることを確かめてから、使うことをおすすめします（☞「操作編」44ページ）。

他の機器をつなぐ

次のページにつづく ⇨

ご注意

- AVマウスの接続テストがうまくいかなかったときや、AVマウスを使えないときは、AVマウスをつながないでください。
- 動作テストに成功しても、リモコンの受光感度の低い録画機器では、AVマウスでの録画予約がうまくいかないことがあります。その場合には、AVマウスの取り付け位置を変えてみてください。

本機の映像を録画するための接続と設定（つづき）

録画機器の種類

手順2-3 で選ぶ録画機器の種類は以下のものがあります。

お手持ちの録画機器（ソニー/アイワ）	録画機器の種類
● HDD搭載DVDレコーダー *1	HDD・DVDレコーダー
● ビデオデッキ	VTR
● ビデオ一体型DVDレコーダー	DVDレコーダー・VTR
● HDD搭載ビデオ一体型DVDレコーダー ● ネットワークデジタルレコーダー	HDD・DVDレコーダー・VTR
● ハードディスクレコーダー	HDD
● DVDレコーダー	DVDレコーダー
● DVDプレーヤー一体型ビデオ	DVDプレーヤー・VTR
● ブルーレイディスクレコーダー	BD

*1 ソニー製HDD搭載DVDレコーダー（スゴ録）をAVマウスで設定するときは、「HDD･DVDレコーダー」を選んでください。

お手持ちの録画機器（他社）	録画機器の種類
● ビデオデッキ	VTR
● DVDプレーヤー一体型ビデオ	DVDレコーダー・VTR
● DVDレコーダー ● ビデオ一体型DVDレコーダー ● HDD搭載DVDレコーダー ● HDD搭載ビデオ一体型DVDレコーダー	HDD・DVDレコーダー

リモコンコード

手順2-5 では、以下のいずれかのAVマウス設定用のリモコンコードを選んでください。

お手持ちの録画機器	リモコンコード
● HDD搭載DVDレコーダー *2	1 2 3
● ビデオデッキ	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
● ビデオ一体型DVDレコーダー *2	1 2 3
● HDD搭載ビデオ一体型DVDレコーダー *2 ● ネットワークデジタルレコーダー	1 2 3
● ハードディスクレコーダー	1 2 3
● DVDレコーダー *2	1 2 3
● DVDプレーヤー一体型ビデオ	1
● ブルーレイディスクレコーダー	1 2 3

*2 ソニー製HDD搭載DVDレコーダー（スゴ録）をAVマウスで設定するときは、つないだ機器側のリモコンモードにあわせてください。ソニー製HDD搭載DVDレコーダー（スゴ録）のリモコンモードは、お買い上げ時は「3」に設定されています。

録画機器にリモコンコードが設定できるときは

録画機器と本機のリモコンコードを合わせてください。録画機器にリモコンコードが設定できるかどうかは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

複数のリモコンコードがあるときは

手順4（☞47ページ）の動作テストを行い、録画機器が操作できないときは、リモコンコードを変えてください。

録画予約の前に行っておくこと

- 手順3（☞46ページ）の設定ができない機器は、録画機器側で「入力」をあらかじめ切り換えておいてください。
- 録画機器の電源は切っておいてください。
- 複合機のときは、録画したい方を録画機器側で選んでおいてください。

  例：HDD搭載DVDレコーダー

  HDDまたはDVDのどちらかを録画機器側で選んでおいてください。

オーディオ機器で音声を聞くための接続と設定

高音質で楽しむために

接続する端子の種類によって、音質が異なります。つなぐ機器の音声入力端子によって、より高音質の出力端子を選んでください。

出力端子	音質	音声
光デジタル音声出力端子	高	高音質なデジタル音声(5.1ch)をオーディオ機器で楽しめます。地上アナログや外部入力からの音声は、PCM音声(2ch)のデジタル信号に変換されます。
音声出力端子	標準	標準のアナログ音声(2ch)をオーディオ機器で楽しめます。

スピーカー出力の設定をする

オーディオ機器で音声を聞くときに、本機のスピーカーからも音声を出力するかどうかを設定します。

1 メニュー(メニュー)を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「(各種設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「音声出力設定」を↑↓で選び、決定を押す。

5 「スピーカー出力」を↑↓で選び、決定を押す。

6 「入」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。

入	本機のスピーカーから音声が出ます。
切	本機のスピーカーから音声が出ません。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。

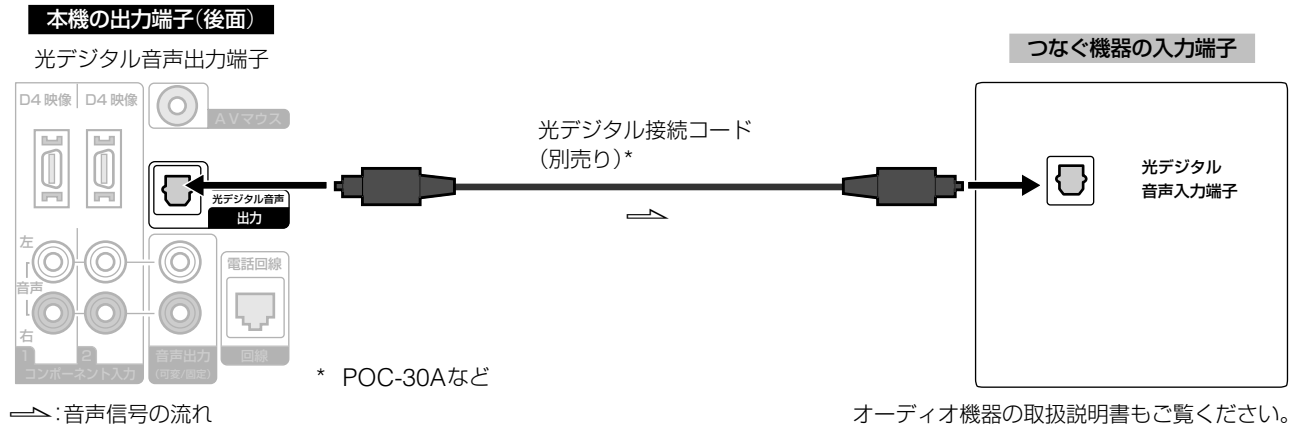
次のページにつづく ⇨

オーディオ機器で音声を聞くための接続と設定（つづき）

光デジタル音声出力端子につなぐ

* POC-30Aなど

：音声信号の流れ

オーディオ機器の取扱説明書もご覧ください。

光デジタル音声出力端子の設定をする

光デジタル音声出力端子から出力される信号や、出力のタイミングを設定します。

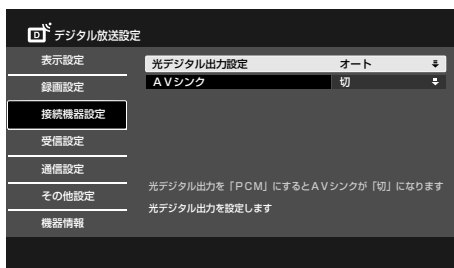
1 （メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を⇧⇩で選び、決定を押す。

3 「（デジタル放送設定）」を⇧⇩で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「接続機器設定」を⇧⇩で選び、決定を押す。

6 設定項目を⇧⇩で選び、決定を押す。

光デジタル出力設定	**オート**：AAC対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。 デジタル放送の音声のときは、AAC音声（デジタル放送用音声方式）がそのまま出力されます。 地上アナログやビデオ機器などからのアナログ音声のときは、PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。 **PCM**：AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどをつないでいるときに選びます。 デジタル放送の音声も、地上アナログや外部入力からの音声もすべて、PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。
AVシンク	光デジタル音声出力端子にAVアンプをつないだときに、音声と映像がずれるのが気になる場合に調整します。 録画実行中は「モード1、2、3」に設定していても、「切」と同じ状態になります。 **モード1/モード2/モード3**：本機で調整するときに選びます。音声と映像のずれが大きいときは「モード1」を選んでください。 **切**：AVアンプにも同等の機能があるときに選びます。AVアンプ側で調整してください。 「光デジタル出力設定」が「PCM」に設定されているときは、「切」になります。

AVシンクの効果

録画実行中は「AVシンク」の効果は無効になります。

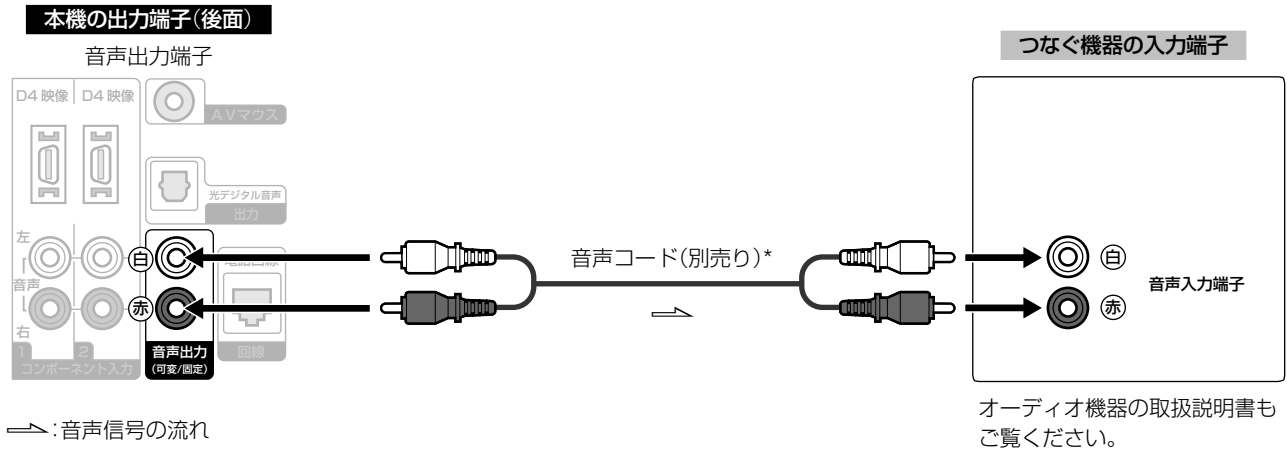
音声出力端子につなぐ

本機の出力端子(後面)

音声出力端子

つなぐ機器の入力端子

オーディオ機器の取扱説明書もご覧ください。

⟶:音声信号の流れ

* RK-C330など

音声出力端子の設定をする

本機とオーディオ機器のどちらで音量を調節するかを設定します。

1 (メニュー)(メニュー)を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「(各種設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「音声出力設定」を↑↓で選び、決定を押す。

5 「音声外部出力設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 「固定」または「可変」を↑↓で選び、決定を押す。

固定	音声出力端子から出力される音量を固定します。オーディオ機器側で音量調節してください。
可変	音声出力端子から出力される音量を本機で調節できます。音量+/−ボタンで調節してください。

パソコン（PC）の画像を見るための接続

本機を別売りのディスプレイケーブルでパソコンにつなぐと、本機の大画面にパソコンの画面を映し出すことができます。また、別売りの音声コードをつなぐと、本機のスピーカーでパソコンの音声を楽しめます。

本機の入力端子（後面）

PC入力（RGB）

HDMI 入力

RGB
入力

PC入力

PC入力（音声）

（ビデオ ID-1システム）

S2 映像

映像

左

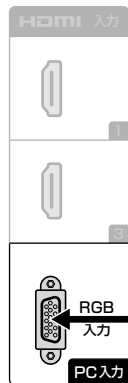
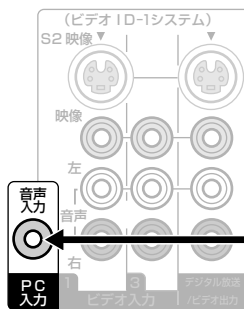
音声

右

音声
入力

PC
入力

ビデオ入力

デジタル放送
/ビデオ出力

音声コード（別売り）*2

パソコンの
出力端子

音声出力端子

Mini D-Sub15 - Mini D-Sub15
ディスプレイケーブル（別売り）*1

D-SUB出力端子

:映像・音声信号の流れ

パソコンの取扱説明書もご覧ください。

*1 アナログRGB
*2 ステレオミニプラグ

パソコン側の設定

- パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本機で対応している信号をパソコン側で設定し、入力することをおすすめします。

操作編 41ページ パソコン（PC）入力の設定をする

チラツキやノイズなどが出るとき

対応信号を入力してもチラツキやノイズなどが出るときは、フェーズやピッチを調整してください。

操作編 41ページ パソコン（PC）入力の設定をする

音量を調整するとき

パソコン側でも音量を調整してください。

Mini D-Sub15 - Mini D-Sub15 ディスプレイケーブルでつなげないパソコンをお使いのとき

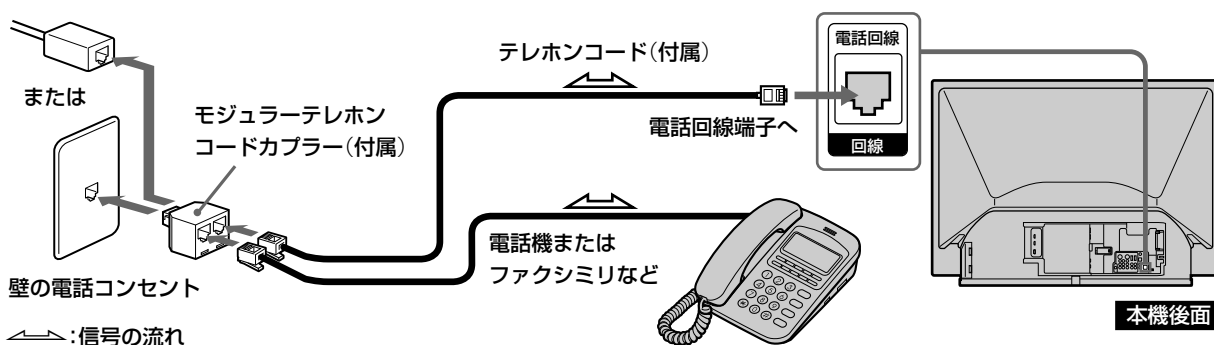
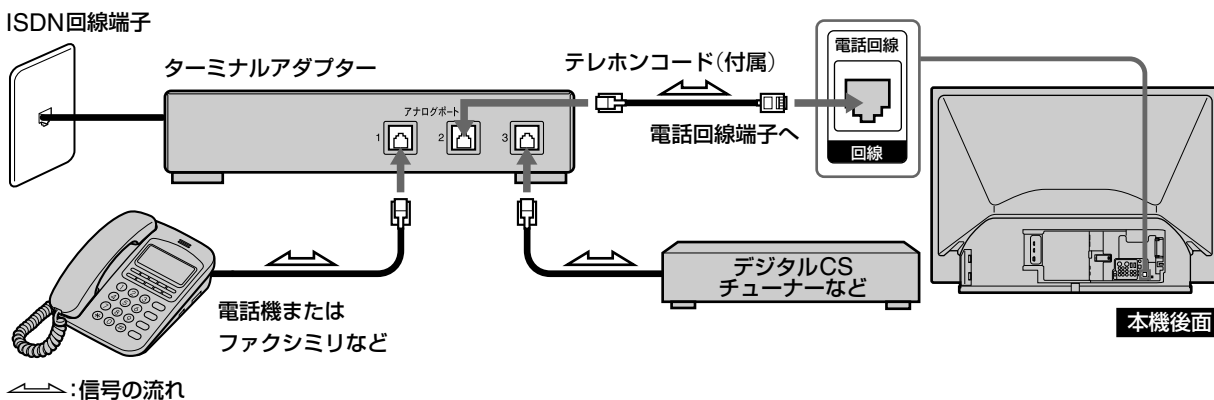
- 必要に応じて市販のアダプターをお使いください。アダプターは、先にコンピューターに差し込んでから、ディスプレイケーブルにつなぎます。
- HDMI出力のあるパソコンは、本機のHDMI入力とつないでください。

電話回線の接続と設定

以下のようなときは、本機を電話回線につなぐ必要があります。
- 有料放送(ペイパービューなど)を購入するとき
- データ放送の双方向サービスを受けるとき(アンケートなどの視聴者参加型番組に参加するときなど)

電話回線につなぐ

お住まいの電話回線の状況に合わせて、つないでください。壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは、お買い上げ店や専門業者などにお問い合わせください。

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

ISDN回線を使ってつないでいるとき(アナログ接続)

次のページにつづく ⇨

ご注意

- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および共同電話、地域集団電話
  - 携帯電話およびPHS、自動車電話
  - 船舶電話
  - 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」(0発信)または「9」(9発信)以外の数字を付けるとき
  - ビジネスホン
- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- 光ケーブルを利用したIP電話などではご使用できない場合があります。ご利用の回線事業者にお問い合わせください。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。
- ターミナルアダプターにつないだ場合は、本機の電話回線を「トーン」に設定してください。

54ページ 電話回線の設定をする

電話回線の接続と設定（つづき）

電話回線の設定をする

1 （メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「（デジタル放送設定）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「通信設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 「電話回線設定」を↑↓で選び、決定を押す。

7 設定項目を↑↓←→で選び、決定を押す。

電話回線の設定	**オート**：回線の種類を自動的に選びます。「オート」でうまく通信できないときは、「トーン」または「10pps」、「20pps」を選んでください。 ADSL回線を使っているときは「オート」を選んでください。 **トーン**：プッシュホン回線またはISDN回線を使っているときに選んでください。 **10pps/20pps**：プッシュホン回線を使っていないときに選んでください。プッシュホン回線を使っているか不明のときは、電話会社にお問い合わせください。
発信方法	**通常発信**：外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときは、「通常発信」を選んでください。 **0発信/9発信**：外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」（0発信）または「9」（9発信）を付けるときに選んでください。
電話線接続確認	電話線が正常に接続されているか確認できます。

本機が放送局と通信しているとき

本機前面の録画予約/録画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点滅し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの自動転換器を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器をご使用ください。

ご注意

- デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、電話会社に問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- 「電話線接続確認」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、テストがうまくいってもつながらないときは、再び「電話回線の設定」で「トーン」や「10pps」、「20pps」を正しく設定し直してください。

詳細設定	**発信先への電話番号通知** **通知しない:**電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせない設定です。 **通知する:**電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせる設定です。 **設定なし:**電話番号の先頭に何も付けません。 **電話会社の番号** 特定の電話会社を指定して通信したいときなど、必要に応じて設定してください。リモコンの1〜10の数字ボタンで指定したい電話会社の番号(2〜5桁)を入力して、決定を押してください。 **マイラインプラス契約** 「電話会社の番号」を入力したときに設定します。マイラインプラスの契約をしている場合は、「マイラインプラス契約」を「している」に設定してください。

ご注意

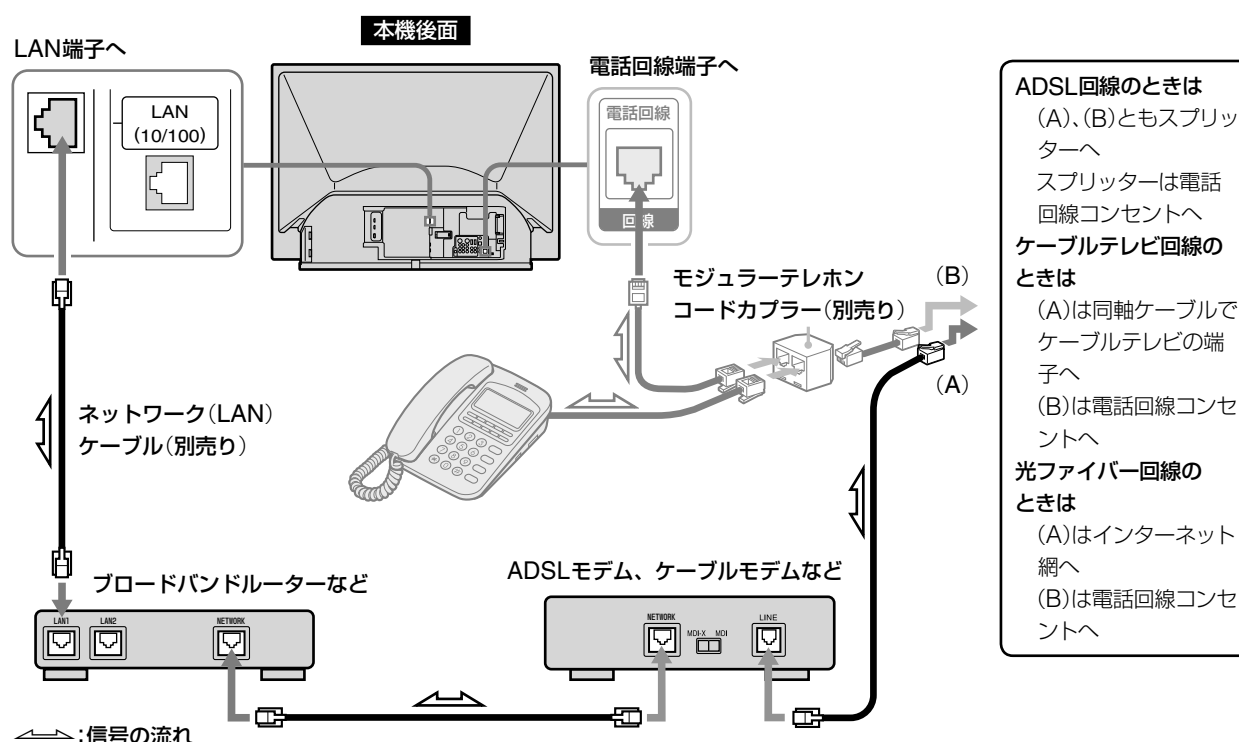
「マイラインプラス契約」を「している」に設定しても、データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

さらに快適に双方向サービスを楽しむための接続と設定

データ放送のコンテンツを放送局などのサーバーからインターネット経由で楽しむことができます。**プロバイダーとの契約が必要です。**

ネットワークにつなぐ

インターネット回線の状況に合わせてつないでください。

ADSL/ケーブルテレビ/光ファイバー回線などでつないでいるとき

ネットワーク(LAN)ケーブルをお使いになるときは

- ネットワーク(LAN)ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク(LAN)ケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

データ放送のコンテンツ

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルで運用されています。

モデムなどについて

ご不明な点は、ご利用の回線事業者にお問い合わせください。

ネットワークの設定をする

設定する項目は、状況によって異なります。インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。

1 (メニュー)(メニュー)を押す。

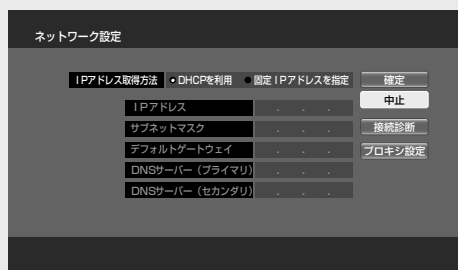
2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、(決定)を押す。

3 「(デジタル放送設定)」を↑↓で選び、(決定)を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、(決定)を押す。

5 「通信設定」を↑↓で選び、(決定)を押す。

6 「ネットワーク設定」を↑↓で選び、(決定)を押す。

7 設定項目を↑↓←→で選び、(決定)を押す。

IPアドレス取得方法	**DHCPを利用:**ルーターやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **固定IPアドレスを指定:**ルーターの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。 ↑↓で手動入力する項目を選んで(決定)を押し、(1)～(10)の数字ボタンで4個の枠に3桁の数値(0 ～ 255)を入力してください。 手動入力する項目は次のとおりです。 **IPアドレス:** **サブネットマスク:** **デフォルトゲートウェイ:** **DNSサーバー(プライマリ)/(セカンダリ):** プロバイダーの指定がある場合はその値を入力してください。
接続診断	ネットワークに正常に接続できるかの確認をします。
プロキシ設定	プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときに設定してください。 **プロキシサーバー使用:**プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは「する」に設定してください。 手動入力する項目は次のとおりです。 **プロキシサーバー:** **ポート(1 ～ 65535):** プロバイダーの指定の値を入力してください。

次のページにつづく ⇨

DNSサーバー

DNSサーバーは、「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。

さらに快適に双方向サービスを楽しむための接続と設定(つづき)

データ放送の通信設定をする

地上デジタルでデータ放送のコンテンツに入るときなどに、確認のダイアログを表示するかの設定をします。

1 (メニュー)を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「(デジタル放送設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「通信設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 「データ放送通信設定」を↑↓で選び、決定を押す。

7 設定項目を↑↓←→で選び、決定を押す。

セキュリティサイト自動接続	**する:**セキュリティ保護されたサイトを表示しようとしたときや、セキュリティ保護されていないサイトへ移るとき、確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。 **しない:**セキュリティサイト表示の確認ダイアログを表示します。
証明書のダウンロード確認	**する:**放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **しない:**ダウンロードの確認ダイアログを表示しません。
証明書のダウンロード	**する:**放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **しない:**放送局から新しい証明書が発行されても、ダウンロードしません。

セキュリティ証明書を見るには

1 (メニュー)を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「(デジタル放送設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「機器情報」を↑↓で選び、決定を押す。

6 「ルートCA証明書一覧」または「通信先証明書一覧」を↑↓で選び、決定を押す。

7 見たい証明書を↑↓で選び、決定を押す。

証明書の詳細内容が表示されます。
ルートCA証明書のときは、「削除」を↑↓で選んで決定を押すと、表示しているルートCA証明書を削除できます。また、一覧表示中に「全件削除」を選んで決定を押すと、すべてのルートCA証明書を削除できます。

ルートCA証明書

ルートCA証明書はルートCA(認証機関)が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。
セキュリティ情報をやりとりするときに、接続先のセキュリティサイトの証明書が確認され、信頼するかどうかを決定できます。

通信先証明書

- 通信先証明書はセキュリティサイトを表示しているときに見ることができます。セキュリティサイトを表示しているときは画面右下にが表示されます。
- セキュリティサイトを表示中でも、証明書取得中は通信先証明書を表示できないことがあります。

有料放送の申し込み

加入申し込みが必要な有料BSデジタル放送局と110度CSデジタル衛星サービス会社のカスタマーセンター(お問い合わせ先)一覧

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルを視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。
加入申し込み方法はBSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

2006年7月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS•110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号/ ホームページアドレス
WOWOW*1	0120-480801 受付 9:00 ～ 20:00(年中無休) http://www.wowow.co.jp/
スター・ チャンネル*2	スター・チャンネル カスタマーセンター 03-5563-6777 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/ なお、スター・チャンネルBSの加入申し込みは、下記のｅ２ ｂｙ スカパー！へお問い合わせください。

*1 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送(WOWOW プロモチャンネル:791ch)は無料放送です。
*2 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送(800ch)は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル 衛星サービス	お問い合わせ電話番号/ ホームページアドレス
ｅ２ ｂｙ スカパー！ (CS1・CS2)	■ カスタマーセンター 「ｅ２ ｂｙ スカパー！カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00(年中無休) ■ ホームページ 「ｅ２ ｂｙ スカパー！ホームページ」 www.e2sptv.jp

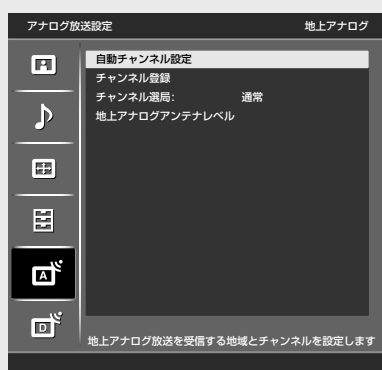
地上アナログ放送の設定を変更する

かんたん設定した地上アナログ放送の受信設定をお好みに合わせて変更できます。

「アナログ放送設定」の表示手順

1 (メニュー)を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「(アナログ放送設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

自動でチャンネル設定する［オート/スキャン］

受信できる地上アナログのチャンネルを自動で設定します。

1 「アナログ放送設定」の表示手順を行う。

2 「自動チャンネル設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「オート」または「スキャン」を↑↓で選び、決定を押す。

オート	地域を選び、その地域にあらかじめ設定されているチャンネルを登録します。放送局のある地域を選んでください。
スキャン	受信できるチャンネルをすべて登録します。 **スキャンが効果的な場合** ● 隣接地域の放送も受信したいとき ● 「地上アナログ放送の地域別チャンネル表」(☞71ページ)に該当する地域名がないとき ● ケーブルテレビ(CATV)のとき

「オート」を選んだ場合

1 「地方」からお住まいの地域を↑↓で選び、決定を押す。

2 「詳細地域」からお住まいの地域を↑↓で選び、決定を押す。

3 「確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

「スキャン」を選んだ場合

チャンネルスキャンが始まります。

4 「確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

数字ボタンに設定されたチャンネルを入れ換える

数字ボタンでワンタッチ選局するときのチャンネルを変更できます。

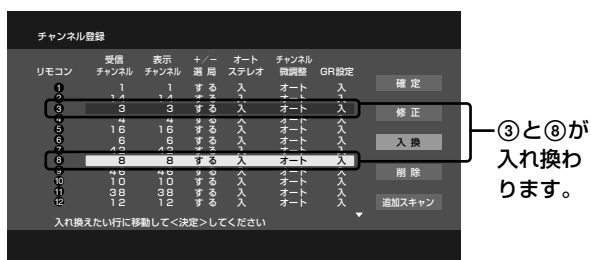
例：③と⑧を入れ換える

1 「アナログ放送設定」の表示手順（☞60ページ）を行う。

2 「チャンネル登録」を⬆⬇で選び、決定を押す。

3 「入換」を⬆⬇で選び、決定を押す。

4 ③を⬆⬇で選び、決定を押す。

5 ⑧を⬆⬇で選び、決定を押す。

画面に表示されるチャンネル番号を変更する

画面に表示されるチャンネル番号は新聞のテレビ欄などに載っている番号になっています。これを他の番号などに変更できます。

1 「アナログ放送設定」の表示手順（☞60ページ）を行う。

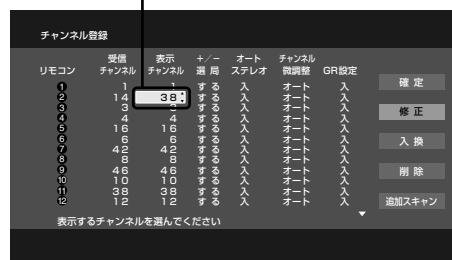
2 「チャンネル登録」を⬆⬇で選び、決定を押す。

3 「修正」を⬆⬇で選び、決定を押す。

4 変更するチャンネルを⬆⬇で選び、決定を押す。

5 「表示チャンネル」欄を⬅➡で選ぶ。

6 変更したい数字が表示されるまでくり返し⬆⬇を押し、決定を押す。

リモコンの数字ボタン❷を押すと、14チャンネルに切り換わり、画面には「38」と表示されます。

チャンネル+/−ボタンで選べるチャンネルを変更する

チャンネル+/−ボタンを押したときに、選局するかどうかを変更できます。

1 「アナログ放送設定」の表示手順（☞60ページ）を行う。

2 「チャンネル登録」を⬆⬇で選び、決定を押す。

3 「修正」を⬆⬇で選び、決定を押す。

4 変更するチャンネルを⬆⬇で選び、決定を押す。

5 「+/−選局」欄を⬅➡で選ぶ。

6 「する」または「しない」を⬆⬇で選び、決定を押す。

する	チャンネル+/−ボタンで選局できます。
しない	チャンネル+/−ボタンで選局できません。

次のページにつづく ⇨

地上アナログ放送の設定を変更する(つづき)

ステレオ放送のとき自動で音声を切り換える[オートステレオ]

1 「アナログ放送設定」の表示手順(☞60ページ)を行う。

2 「チャンネル登録」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「修正」を↑↓で選び、決定を押す。

4 設定するチャンネルを↑↓で選び、決定を押す。

5 「オートステレオ」欄を←→で選ぶ。

6 「入」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。

入	ステレオ音声を受信したときは、自動でステレオ音声になります。
切	「入」にしていて、雑音が気になるときに選びます。

受信状態を微調整する

チャンネルごとに受信状態を微調整できます。

1 「アナログ放送設定」の表示手順(☞60ページ)を行う。

2 「チャンネル登録」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「修正」を↑↓で選び、決定を押す。

4 微調整するチャンネルを↑↓で選び、決定を押す。

5 「チャンネル微調整」欄を←→で選び、決定を押す。

6 「オート」または「カスタム」を↑↓で選び、決定を押す。

オート	自動で最適な受信状態に調整します。
カスタム	受信状態を←→で手動調整します。 最小 ～ 最大

二重映り(ゴースト)を軽減する

1 「アナログ放送設定」の表示手順(☞60ページ)を行う。

2 「チャンネル登録」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「修正」を↑↓で選び、決定を押す。

4 設定するチャンネルを↑↓で選び、決定を押す。

5 「GR設定」欄を←→で選ぶ。

6 「入」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。

入	放送局から送信されるゴースト除去信号を感知し、建物や地形などによる電波反射で発生するゴーストを軽減します。
切	GR設定は働きません。

ご注意

- 「GR設定」は地上アナログのみ設定できます。本機につないだ機器の再生映像などには働きません。
- 「GR設定」が「入」のとき、チャンネルを切り換えたあと、数秒してから働きます。そのときに、画面が一瞬またたくことがありますが、故障ではありません。
- 受信している電波が弱いときは、「GR設定」が働くまでに時間がかかることがあります。

受信レベルを確認する

地上アナログの受信状態を確認できます。受信状態が弱いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1 「アナログ放送設定」の表示手順（☞60ページ）を行う。

2 「地上アナログアンテナレベル」を↑↓で選び、決定を押す。

登録されたチャンネルを削除する

自動で登録されたチャンネルの中で、電波が弱いチャンネルなどを削除できます。

1 「アナログ放送設定」の表示手順（☞60ページ）を行う。

2 「チャンネル登録」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「削除」を↑↓で選び、決定を押す。

4 削除するチャンネルを↑↓で選び、決定を押す。

5 決定を押す。

新しいチャンネルを追加する

受信できるチャンネルが増えたときなどに、すでに登録してあるチャンネルに追加して登録できます。

1 「アナログ放送設定」の表示手順（☞60ページ）を行う。

2 「チャンネル登録」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「追加スキャン」を↑↓で選び、決定を押す。

チャンネルスキャンが始まります。

4 「確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

ご注意

「地上アナログアンテナレベル」で表示される「アンテナレベル」の「中」はあくまでも目安です。信号環境によっては「中」や「強」レベルであっても、良好な画質が得られない場合があります。

地上デジタル放送の設定を変更する

かんたん設定した地上デジタル放送の受信設定をお好みに合わせて変更できます。

「受信設定」の表示手順

1 （メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

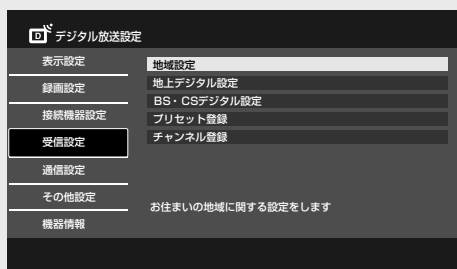
3 「（デジタル放送設定）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「受信設定」を↑↓で選び、決定を押す。

地域設定をする

デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信するために地域設定を行います。

1 「受信設定」の表示手順を行う。

2 「地域設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「県域設定」または「郵便番号設定」を↑↓で選び、決定を押す。

県域設定	お買い上げ時や引越しなどでお住まいの地域が変わったときに設定します。
郵便番号設定	郵便番号が変わったときに、数字ボタンで入力します。

数字ボタンに設定されたチャンネルを変更する

リモコンの1～12ボタンを押して選局できるチャンネルを変更できます。

1 「受信設定」の表示手順を行う。

2 「プリセット登録」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「地上デジタルプリセット登録」を↑↓で選び、決定を押す。

4 変更したいチャンネルを↑↓←→で選び、決定を押す。

5 3桁のチャンネル番号を↑↓で変更して、決定を押す。

例：2を押して110チャンネルを見たいときは、ここを「110」にする。

6 「確定」を↑↓←→で選び、決定を押す。

ご注意

- 郵便番号を設定するときは、お住まいの地域の郵便番号を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信してしまいます。
- 県域設定を変更したときは、「初期スキャン」を行ってください。

65ページ 自動でチャンネル設定する

チャンネル+/−ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する

1 「受信設定」の表示手順(☞64ページ)を行う。

2 「チャンネル登録」を⬆⬇で選び、決定を押す。

3 「地上デジタルチャンネル登録」を⬆⬇で選び、決定を押す。

4 変更したいチャンネルのチェック欄を⬆⬇⬅➡で選び、決定を押す。

決定を押すたびに✓が付いたり消えたりします。

「+/−ボタン」チェック欄
✓を消すと、チャンネル+/−ボタンでチャンネルをとばせます。

「すべて登録」
□のあるすべてのチャンネルに、✓が付きます。

「番組表」チェック欄
✓を消すと、番組表や他チャンネルリストに表示されなくなります。

「すべてクリア」
すべての✓を消します。

5 「確定」を⬆⬇⬅➡で選び、決定を押す。

自動でチャンネル設定する［チャンネルスキャン］

受信できる地上デジタルのチャンネルを自動で設定します。

1 「受信設定」の表示手順(☞64ページ)を行う。

2 「地上デジタル設定」を⬆⬇で選び、決定を押す。

3 「チャンネルスキャン」を⬆⬇で選び、決定を押す。

4 「初期スキャン」または「再スキャン」を⬆⬇で選び、決定を押す。

初期スキャン	受信できるすべてのチャンネルをスキャンし、リモコンの数字ボタンに自動的に登録します。
再スキャン	登録済みのチャンネルはそのままで、新しく受信できるチャンネルのみをスキャンして空いている数字ボタンに登録します。

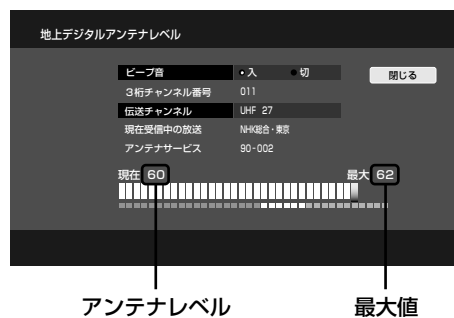
受信レベルを確認する

1 「受信設定」の表示手順(☞64ページ)を行う。

2 「地上デジタル設定」を⬆⬇で選び、決定を押す。

3 「地上デジタルアンテナレベル」を⬆⬇で選び、決定を押す。

アンテナレベルが緑色の部分に差し掛かると受信状態は良好です。最大値は受信地域によって異なります。アンテナレベルが低いときはお買い上げ店などにご相談ください。

アンテナレベル　　最大値

次のページにつづく ⇨

ご注意

チャンネル登録では、臨時チャンネルは選べません。

アンテナレベルの数値について

アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安で、受信C/Nの換算値を表します。

ビープ音

「地上デジタルアンテナレベル」画面で「ビープ音」を「入」にすると、いちばん高い音程になるように音を聞きながらアンテナの向きを調整できます。

地上デジタル放送の設定を変更する（つづき）

受信できるチャンネルが増えたとき自動で登録する

1 「受信設定」の表示手順（☞64ページ）を行う。

2 「地上デジタル設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「自動チャンネル変更」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「する」または「しない」を↑↓で選び、決定を押す。

する	通常は「する」でお使いください。放送局やチャンネルが増えたとき、または伝送チャンネルが変更されたときは、電源スタンバイ中（スタンバイランプが赤色に点灯）に自動で登録します。本体の電源スイッチで主電源を切っているときは登録できません。
しない	自動では登録しません。チャンネルスキャンを行うと受信できるようになります。

受信方法を変更する

1 「受信設定」の表示手順（☞64ページ）を行う。

2 「地上デジタル設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「受信方法（バンド）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「UHF」または「CATV」を↑↓で選び、決定を押す。

UHF	地上デジタル放送をUHFアンテナで受信しているときに選びます。
CATV	地上デジタル放送をケーブルテレビで受信しているときに選びます。

受信状態の設定をする

1 「受信設定」の表示手順（☞64ページ）を行う。

2 「地上デジタル設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「受信状態」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「通常」または「混信」を↑↓で選び、決定を押す。

通常	通常はこのままお使いください（お買い上げ時の設定）。
混信	「通常」にしていて、選局時にノイズが気になるときに選びます。

衛星放送の設定を変更する（BS•110度CSデジタル）

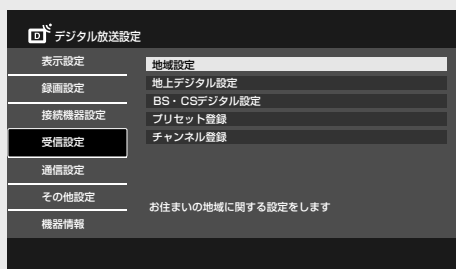
BS･110度CSデジタル放送の受信設定をお好みに合わせて変更できます。

「受信設定」の表示手順

1 （メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「（デジタル放送設定）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「受信設定」を↑↓で選び、決定を押す。

衛星アンテナへの電源の供給を変更する

1 「受信設定」の表示手順を行う。

2 「BS･CSデジタル設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「衛星アンテナ電源」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「オート」または「入」、「切」を↑↓で選び、決定を押す。

オート	本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動で判断します。本機の電源が切れているときは電源を供給しません。
入	「オート」の設定にしていて、BSが映ったり消えたりするときに選びます。本機の電源が入っているときは常に電源を供給します。
切	マンションなどの共同受信システムのときに選びます。電源を供給しません。

衛星アンテナの向きを調整する

1 「受信設定」の表示手順を行う。

2 「BS･CSデジタル設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「衛星アンテナレベル」を↑↓で選び、決定を押す。

衛星アンテナレベルが、できるかぎり最大値に近くなるように、衛星アンテナの向きを調整し固定します。

次のページにつづく ⇨

ご注意

衛星アンテナの向きを調整する前に、「衛星アンテナ電源」が「オート」または「入」になっているか確認してください。「切」になっているときは「オート」または「入」に設定してから、テレビ本体の電源スイッチで主電源を入れ直してください。

アンテナレベルの数値について

アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安で、受信C/Nの換算値を表します。

ビープ音

「衛星アンテナレベル」画面で「ビープ音」を「入」にすると、いちばん高い音程になるように音を聞きながらアンテナの向きを調整できます。

衛星放送の設定を変更する（BS・110度CSデジタル）（つづき）

数字ボタンに設定されたチャンネルを変更する

リモコンの❶～⓬ボタンを押して選局できるチャンネルを変更できます。

1 「受信設定」の表示手順（☞67ページ）を行う。

2 「プリセット登録」を↑↓で選び、決定を押す。

3 変更したい放送を↑↓で選び、決定を押す。

BSデジタルプリセット登録	BSデジタルのチャンネルを変更します。
CS1デジタルプリセット登録	110度CSデジタルのCS1のチャンネルを変更します。
CS2デジタルプリセット登録	110度CSデジタルのCS2のチャンネルを変更します。

4 変更したいチャンネルを↑↓←→で選び、決定を押す。

5 3桁のチャンネル番号を↑↓で変更して、決定を押す。

例：❷を押して110チャンネルを見たいときは、ここを「110」にする。

6 「確定」を↑↓←→で選び、決定を押す。

「初期化」を選ぶと、お買い上げ時の設定に戻ります。

チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する

1 「受信設定」の表示手順（☞67ページ）を行う。

2 「チャンネル登録」を↑↓で選び、決定を押す。

3 変更したい放送を↑↓で選び、決定を押す。

BSデジタルチャンネル登録	BSデジタルのチャンネルを変更します。
CS1デジタルチャンネル登録	110度CSデジタルのCS1のチャンネルを変更します。
CS2デジタルチャンネル登録	110度CSデジタルのCS2のチャンネルを変更します。

4 変更したいチャンネルのチェック欄を↑↓←→で選び、決定を押す。

決定を押すたびに✓が付いたり消えたりします。

5 「確定」を↑↓←→で選び、決定を押す。

ご注意

チャンネル登録では、臨時チャンネルは選べません。

視聴年齢制限を設定する

視聴年齢制限のある番組を、暗証番号を入力しなければ視聴できないように設定できます。

「その他設定」の表示手順

1 （メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「（デジタル放送設定）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「その他設定」を↑↓で選び、決定を押す。

暗証番号を設定する

1 「その他設定」の表示手順を行う。

2 「暗証番号設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する。

暗証番号を間違えたときは、←で戻り入力し直してください。

暗証番号が未設定の場合

新しい暗証番号を入力します。

暗証番号を変更する場合

設定済みの暗証番号を入力してから、新しい暗証番号を入力します。

4 「確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

視聴年齢制限を設定する

あらかじめ暗証番号を設定しておく必要があります。

1 「その他設定」の表示手順を行う。

2 「視聴年齢制限設定」を↑↓で選び、決定を押す。

3 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する。

4 「確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 設定項目を↑↓←→で選び、決定を押す。

年齢に関係なく視聴を可能にする	視聴年齢付き番組でも暗証番号を入力せずに見ることができます。手順8に進んでください。
年齢によって視聴を制限する	設定する年齢より上の視聴年齢付き番組は、暗証番号を入力しないと見ることができません。手順6に進んでください。

6 「年齢設定」を↑↓で選び、決定を押す。

7 年齢を↑↓で設定し、決定を押す。

4才～19才の範囲で設定できます。すべての視聴年齢付き番組の視聴を制限するには、「4才」などの低い年齢に設定してください。

8 「確定」を↑↓←→で選び、決定を押す。

ご注意

- 暗証番号は忘れないように書き留めるなどしておいてください。
- 設定した暗証番号を忘れてしまったときは、「個人情報初期化」を行い一度消去することで、新たに設定し直せます。その場合は「消去される内容」(☞70ページ)はすべて消去されるので、ご注意ください。

本機に記録された個人情報を消去する

本機を廃棄したり譲渡したりするときに、個人的な情報を消去できます。

消去される内容

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 暗証番号、パスワードなどの登録情報
- 設定した予約および履歴の情報
- ペイパービューなどの履歴情報
- メール
- 登録したブックマーク
- 登録発呼の登録･履歴情報
- 登録したキーワード
- 放送設定の設定内容(地域情報など)
- 接続サーバーの設定
- ネットワーク設定(IPアドレスなど)
- 通信などによる各種証明書
- デジタル放送各種チャンネル設定
- 地上アナログのチャンネル設定

1 メニュー(メニュー)を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「(デジタル放送設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「その他設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 「個人情報初期化」を↑↓で選び、決定を押す。

7 「消去する」を←→で選び、決定を押す。

8 「はい」を←→で選び、決定を押す。

「消去される内容」が一括して消去され、お買い上げ時の設定に戻ります。
消去が終了すると、自動で電源が切れます。

ご注意

本機を譲渡/廃棄するときは安全のため、個人情報を消去してください。

展示モード

画面左下に「展示モード」または「展示モード:入」と表示されたときは、個人情報を初期化すると、解除されます。

操作編 91ページ 展示モードの解除

地上アナログ放送の地域別チャンネル表

「かんたん設定をする」(☞30ページ)の地上アナログ設定で、チャンネル自動登録として「オート」を選んだとき、リモコンの❶～⓬(/選局)の数字ボタンに割り当てられる地上アナログの放送局は下記のとおりです。
引越しなどで最初からチャンネルを割り当て直したいときは、「かんたん設定をする」(☞30ページ)を行うか、「地上アナログ放送の設定を変更する」(☞60ページ)をご覧になり、チャンネルスキャンをやり直してください。

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
北海道	帯広	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	6	6	⑥
		STVテレビ	10	10	⑩
		HTBテレビ	34	34	①
		UHBテレビ	32	32	⑧
	釧路	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	41	41	⑧
	北見(網走)	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	1	1	①
		STVテレビ	5	5	⑤
		HTBテレビ	35	35	⑨
		UHBテレビ	27	27	⑦
	新北見	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	53	53	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	61	61	⑩
		UHBテレビ	59	59	⑧
	旭川	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	37	37	⑧
		TVHテレビ	33	33	④
	札幌	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	1	1	①
		STVテレビ	5	5	⑤
		HTBテレビ	35	35	⑩
		UHBテレビ	27	27	⑦
		TVHテレビ	17	17	④
	小樽	NHK総合	11	11	⑪
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	9	9	⑨
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	4	4	④
		UHBテレビ	26	26	⑥
		TVHテレビ	24	24	⑧
	函館	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		HBCテレビ	6	6	⑥
		STVテレビ	12	12	⑫
		HTBテレビ	35	35	③
		UHBテレビ	27	27	②
		TVHテレビ	21	21	①
	室蘭	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	37	37	⑧
		TVHテレビ	29	29	④
	苫小牧	NHK総合	51	51	③
		NHK教育	49	49	⑫
		HBCテレビ	55	55	①
		STVテレビ	57	57	⑤
		HTBテレビ	61	61	⑩
		UHBテレビ	53	53	⑦
		TVHテレビ	47	47	④

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
青森	青森	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		青森放送	1	1	①
		青森テレビ	38	38	⑫
		青森朝日放送	34	34	⑩
		HTBテレビ	35	35	⑪
		UHBテレビ	27	27	⑧
	八戸	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	7	7	⑦
		青森放送	11	11	⑪
		青森テレビ	33	33	⑫
		青森朝日放送	31	31	④
岩手	盛岡	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		IBCテレビ	6	6	⑥
		テレビ岩手	35	35	③
		めんこいテレビ	33	33	②
		岩手朝日テレビ	31	31	⑤
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑦
		東日本放送	32	32	⑩
宮城	仙台	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑩
		東日本放送	32	32	⑦
	石巻	NHK総合	51	3	③
		NHK教育	49	5	⑤
		東北放送	59	1	①
		仙台放送	57	12	⑫
		ミヤギテレビ	55	34	⑩
		東日本放送	61	32	⑦
秋田	秋田	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		秋田放送	11	11	⑪
		秋田テレビ	37	37	⑫
		秋田朝日放送	31	31	⑤
	大館	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		秋田放送	6	6	⑥
		秋田テレビ	57	57	⑫
		秋田朝日放送	59	59	⑤
		青森放送	1	1	①
山形	山形	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	4	4	④
		山形放送	10	10	⑩
		山形テレビ	38	38	⑫
		テレビユー山形	36	36	⑥
		さくらんぼテレビ	30	30	⑤
	鶴岡	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	6	6	⑥
		山形放送	1	1	①
		山形テレビ	39	39	⑫
		テレビユー山形	22	22	⑧
		さくらんぼテレビ	24	24	⑤

次のページにつづく ⇨

地上アナログ放送の地域別チャンネル表（つづき）

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
福島	福島･郡山	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		福島テレビ	11	11	⑪
		福島中央テレビ	33	33	⑥
		福島放送	35	35	⑩
		テレビユー福島	31	31	④
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑧
		東日本放送	32	32	⑦
	いわき平	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		福島テレビ	8	8	⑧
		福島中央テレビ	58	34	⑥
		福島放送	60	36	⑫
		テレビユー福島	62	32	②
	いわき勿来	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		福島テレビ	8	8	⑧
		福島中央テレビ	34	34	⑥
		福島放送	36	36	⑫
		テレビユー福島	32	32	②
	会津若松	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		福島テレビ	6	6	⑥
		福島中央テレビ	37	37	⑧
		福島放送	41	41	⑩
		テレビユー福島	47	47	④
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑨
		東日本放送	32	32	⑦
茨城	水戸	NHK総合	44	1	①
		NHK教育	46	3	③
		日本テレビ	42	4	④
		TBSテレビ	40	6	⑥
		フジテレビ	38	8	⑧
		テレビ朝日	36	10	⑩
		テレビ東京	32	12	⑫
		放送大学	16	16	⑤
	日立	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
栃木	宇都宮	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	41	10	⑩
		テレビ東京	44	12	⑫
		とちぎテレビ	31	31	⑤
	矢板	NHK総合	40	1	①
		NHK教育	30	3	③
		日本テレビ	36	4	④
		TBSテレビ	42	6	⑥
		フジテレビ	45	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		とちぎテレビ	33	33	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
群馬	前橋	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		群馬テレビ	48	48	⑤
		放送大学	40	16	⑦
	桐生	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	57	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	35	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		群馬テレビ	41	48	⑤
埼玉	さいたま	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		テレビ埼玉	38	38	⑦
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
		群馬テレビ	48	48	⑪
		千葉テレビ	46	46	⑨
	熊谷･児玉	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	35	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		テレビ埼玉	30	38	⑦
		放送大学	40	40	⑤
		群馬テレビ	48	48	⑪
千葉	千葉	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		千葉テレビ	46	46	⑨
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	東金	NHK総合	35	1	①
		NHK教育	38	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		千葉テレビ	31	46	⑪
	銚子	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		千葉テレビ	39	46	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
東京	東京	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		MXテレビ	14	14	②
		放送大学	16	16	⑤
		tvk	42	42	⑦
		千葉テレビ	46	46	⑨
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	八王子	NHK総合	33	1	①
		NHK教育	29	3	③
		日本テレビ	35	4	④
		TBSテレビ	37	6	⑥
		フジテレビ	31	8	⑧
		テレビ朝日	45	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		MXテレビ	40	14	⑤
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	多摩	NHK総合	49	1	①
		NHK教育	47	3	③
		日本テレビ	51	4	④
		TBSテレビ	53	6	⑥
		フジテレビ	55	8	⑧
		テレビ朝日	57	10	⑩
		テレビ東京	59	12	⑫
		MXテレビ	61	14	⑤
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
神奈川	横浜1	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		tvk	48	42	⑦
	横浜2	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		tvk	42	42	⑦
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
	平塚	NHK総合	33	1	①
		NHK教育	29	3	③
		日本テレビ	35	4	④
		TBSテレビ	37	6	⑥
		フジテレビ	39	8	⑧
		テレビ朝日	41	10	⑩
		テレビ東京	43	12	⑫
		tvk	31	42	⑤
	小田原	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		tvk	46	42	⑤
	秦野	NHK総合	47	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	51	4	④
		TBSテレビ	53	6	⑥
		フジテレビ	55	8	⑧
		テレビ朝日	57	10	⑩
		テレビ東京	59	12	⑫
		tvk	61	42	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
山梨	甲府	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		山梨放送	5	5	⑤
		テレビ山梨	37	37	⑥
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑦
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
長野	長野1	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	9	⑨
		テレビ信州	40	40	⑥
		長野朝日	50	50	④
		信越放送	48	48	⑪
		長野放送	42	42	⑩
	長野2	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	9	9	⑨
		テレビ信州	30	30	⑥
		長野朝日	20	20	④
		信越放送	11	11	⑪
		長野放送	38	38	⑩
	飯田	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	3	3	③
		テレビ信州	42	42	⑨
		長野朝日	44	44	⑪
		信越放送	6	6	⑥
		長野放送	40	40	⑦
	松本	NHK総合	44	44	②
		NHK教育	46	46	⑨
		テレビ信州	48	48	③
		長野朝日	50	50	⑩
		信越放送	40	40	⑪
		長野放送	42	42	⑤
新潟	新潟	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		新潟放送	5	5	⑤
		新潟総合テレビ	35	35	⑩
		テレビ新潟	29	29	④
		新潟テレビ21	21	21	③
	上越	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	1	1	①
		新潟放送	10	10	⑩
		新潟総合テレビ	33	33	⑫
		テレビ新潟	27	27	⑧
		新潟テレビ21	37	37	⑥
富山	富山	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	10	10	⑩
		北日本放送	1	1	①
		富山テレビ	34	34	⑫
		チューリップテレビ	32	32	⑥
		北陸放送	6	6	②
		石川テレビ	37	37	④
	高岡	NHK総合	48	48	③
		NHK教育	46	46	⑩
		北日本放送	50	50	①
		富山テレビ	44	44	⑫
		チューリップテレビ	42	42	⑥
石川	金沢	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		テレビ金沢	33	33	⑩
		北陸朝日	25	25	⑦
		北陸放送	6	6	⑥
		石川テレビ	37	37	⑫
		北日本放送	1	1	①
		富山テレビ	34	34	③
福井	福井	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	3	3	③
		福井放送	11	11	⑪
		福井テレビ	39	39	⑫
		北陸放送	6	6	⑥

次のページにつづく ⇨

地上アナログ放送の地域別チャンネル表（つづき）

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
岐阜	岐阜	NHK総合	39	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑥
		岐阜テレビ	37	37	⑦
		テレビ愛知	25	25	④
		三重テレビ	33	33	⑧
	各務原	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		テレビ愛知	25	25	④
		中京テレビ	35	35	⑫
		岐阜テレビ	41	41	⑦
静岡	静岡	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		静岡放送	11	11	⑪
		テレビ静岡	35	35	⑫
		第一テレビ	31	31	④
		あさひテレビ	33	33	⑥
	浜松	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		静岡放送	6	6	⑥
		テレビ静岡	34	34	⑫
		第一テレビ	30	30	②
		あさひテレビ	28	28	⑩
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		テレビ愛知	25	25	⑦
	富士	NHK総合	52	52	⑨
		NHK教育	54	54	②
		静岡放送	41	41	⑪
		テレビ静岡	39	39	⑦
		第一テレビ	27	27	③
		あさひテレビ	29	29	⑤
	三島･沼津	NHK総合	53	53	⑨
		NHK教育	51	51	②
		静岡放送	55	55	⑪
		テレビ静岡	59	59	⑦
		第一テレビ	61	61	③
		あさひテレビ	57	57	⑤
	藤枝	NHK総合	42	42	⑨
		NHK教育	44	44	②
		静岡放送	40	40	⑪
		テレビ静岡	38	38	⑦
		第一テレビ	24	24	③
		あさひテレビ	26	26	⑤
	島田	NHK総合	56	56	⑨
		NHK教育	54	54	②
		静岡放送	62	62	⑪
		テレビ静岡	58	58	⑦
		第一テレビ	48	48	③
		あさひテレビ	50	50	⑤
愛知	名古屋	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑦
		テレビ愛知	25	25	⑫
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥
	豊橋	NHK総合	54	54	③
		NHK教育	50	50	⑨
		東海テレビ	56	56	①
		CBCテレビ	62	62	⑤
		メ～テレ	60	60	⑪
		中京テレビ	58	58	⑦
		テレビ愛知	52	52	④
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
愛知	豊田	NHK総合	53	53	③
		NHK教育	51	51	⑨
		東海テレビ	57	57	①
		CBCテレビ	55	55	⑤
		メ～テレ	61	61	⑪
		中京テレビ	59	59	⑦
		テレビ愛知	49	49	④
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥
三重	津	NHK総合	31	31	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑦
		三重テレビ	33	33	④
		テレビ愛知	25	25	⑫
	伊勢	NHK総合	53	31	③
		NHK教育	49	9	⑨
		東海テレビ	57	1	①
		CBCテレビ	55	5	⑤
		メ～テレ	61	11	⑪
		中京テレビ	47	35	⑦
		三重テレビ	59	33	④
		テレビ愛知	25	25	⑫
滋賀	大津	NHK総合	28	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	36	4	④
		ABCテレビ	38	6	⑥
		関西テレビ	40	8	⑧
		読売テレビ	42	10	⑩
		びわ湖放送	30	30	⑨
		KBS京都	34	34	⑦
	彦根	NHK総合	52	2	②
		NHK教育	50	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		びわ湖放送	56	56	⑨
京都	京都	NHK総合	32	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		KBS京都	34	34	⑦
		テレビ大阪	19	19	③
	山科	NHK総合	38	2	②
		NHK教育	50	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	56	6	⑥
		関西テレビ	58	8	⑧
		読売テレビ	60	10	⑩
		KBS京都	40	34	⑦
		テレビ大阪	19	19	③
大阪	大阪	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		テレビ大阪	19	19	③
		KBS京都	34	34	⑦
		サンテレビ	36	36	⑨
兵庫	神戸･芦屋	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		サンテレビ	36	36	③
		テレビ大阪	19	19	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
兵庫	姫路	NHK総合	50	2	②
		NHK教育	52	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		サンテレビ	56	3	③
	明石	NHK総合	51	2	②
		NHK教育	49	12	⑫
		毎日放送	53	4	④
		ABCテレビ	57	6	⑥
		関西テレビ	59	8	⑧
		読売テレビ	61	10	⑩
		サンテレビ	55	3	③
	川西	NHK総合	29	2	②
		NHK教育	31	12	⑫
		毎日放送	35	4	④
		ABCテレビ	37	6	⑥
		関西テレビ	39	8	⑧
		読売テレビ	41	10	⑩
		サンテレビ	33	3	③
	長田	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	38	4	④
		ABCテレビ	40	6	⑥
		関西テレビ	42	8	⑧
		読売テレビ	48	10	⑩
		サンテレビ	34	3	③
	三木	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	34	4	④
		ABCテレビ	38	6	⑥
		関西テレビ	40	8	⑧
		読売テレビ	42	10	⑩
		サンテレビ	55	3	③
奈良	奈良	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		奈良テレビ	55	55	⑤
		KBS京都	34	34	③
和歌山	和歌山	NHK総合	32	2	②
		NHK教育	25	12	⑫
		毎日放送	42	4	④
		ABCテレビ	44	6	⑥
		関西テレビ	46	8	⑧
		読売テレビ	48	10	⑩
		テレビ和歌山	30	30	⑤
	海南	NHK総合	50	2	②
		NHK教育	52	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		テレビ和歌山	56	56	⑤
鳥取	鳥取	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	4	4	④
		山陰中央テレビ	24	24	⑫
		山陰放送	22	22	⑩
		日本海テレビ	1	1	①
	米子	NHK総合･鳥取	32	32	⑤
		NHK総合･島根	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		山陰中央テレビ	34	34	③
		山陰放送	10	10	⑩
		日本海テレビ	30	30	①
島根	松江	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		山陰中央テレビ	34	34	③
		山陰放送	10	10	⑩
		日本海テレビ	30	30	①

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
島根	浜田	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	9	9	⑨
		山陰中央テレビ	58	58	⑧
		山陰放送	5	5	⑤
		日本海テレビ	54	54	③
岡山	岡山	NHK総合	5	5	⑤
		NHK教育	3	3	③
		西日本放送	9	9	⑨
		瀬戸内海放送	25	25	⑦
		山陽放送	11	11	⑪
		テレビせとうち	23	23	②
		岡山放送	35	35	①
広島	広島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	7	7	⑦
		中国放送	4	4	④
		広島テレビ	12	12	⑫
		広島ホームテレビ	35	35	②
		テレビ新広島	31	31	①
	福山	NHK総合	5	5	⑤
		NHK教育	3	3	③
		中国放送	7	7	⑦
		広島テレビ	11	11	⑪
		広島ホームテレビ	57	57	②
		テレビ新広島	54	54	①
	尾道	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	7	7	⑦
		中国放送	10	10	⑩
		広島テレビ	12	12	⑫
		広島ホームテレビ	24	24	⑤
		テレビ新広島	26	26	⑥
	呉	NHK総合	11	11	⑪
		NHK教育	1	1	①
		中国放送	9	9	⑨
		広島テレビ	5	5	⑤
		広島ホームテレビ	24	24	④
		テレビ新広島	26	26	⑥
山口	山口	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	1	1	①
		山口放送	11	11	⑪
		テレビ山口	38	38	⑦
		山口朝日放送	28	28	④
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	⑫
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩
		大分放送	5	5	⑤
	下関	NHK総合	39	39	⑨
		NHK教育	41	41	①
		山口放送	4	4	④
		テレビ山口	33	33	⑦
		山口朝日放送	21	21	⑤
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	⑪
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩
	宇部	NHK総合	58	6	⑨
		NHK教育	55	12	①
		山口放送	61	4	⑪
		テレビ山口	44	33	⑦
		山口朝日放送	24	21	⑤
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		テレビ西日本	10	10	⑩
	岩国	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	1	1	①
		山口放送	11	11	⑪
		テレビ山口	22	22	⑦
		山口朝日放送	28	28	⑤

次のページにつづく ⇨

地上アナログ放送の地域別チャンネル表（つづき）

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
徳島	徳島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		四国放送	1	1	①
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		テレビ大阪	19	19	②
		サンテレビ	36	36	⑦
		テレビ和歌山	55	55	⑤
香川	高松	NHK総合	37	37	⑤
		NHK教育	39	39	③
		西日本放送	41	9	⑨
		瀬戸内海放送	33	33	⑦
		山陽放送	29	29	⑪
		テレビせとうち	19	19	①
		岡山放送	31	31	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
	丸亀	NHK総合	44	44	⑤
		NHK教育	40	40	③
		西日本放送	50	50	⑨
		瀬戸内海放送	42	42	⑦
		山陽放送	48	48	⑪
		テレビせとうち	46	46	⑥
		岡山放送	52	52	⑫
愛媛	松山	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	2	2	②
		南海放送	10	10	⑩
		愛媛朝日テレビ	25	25	⑦
		あいテレビ	29	29	⑧
		テレビ愛媛	37	37	⑫
		西日本放送	9	9	⑨
		山陽放送	11	11	⑪
		テレビせとうち	23	23	①
		広島テレビ	12	12	③
		広島ホームテレビ	35	35	④
		テレビ新広島	31	31	⑤
	新居浜	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	4	4	④
		南海放送	6	6	⑥
		愛媛朝日テレビ	14	14	⑩
		あいテレビ	27	27	⑧
		テレビ愛媛	36	36	⑫
		西日本放送	9	9	⑨
		山陽放送	11	11	⑪
		テレビせとうち	23	23	①
		広島テレビ	12	12	③
		テレビ新広島	31	31	⑤
		瀬戸内海放送	33	33	⑦
高知	高知	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	6	6	⑥
		高知放送	8	8	⑧
		テレビ高知	38	38	⑩
		高知さんさんテレビ	40	40	⑪
福岡	福岡	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	6	6	⑥
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	④
		FBSテレビ	37	37	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑤
		テレビ西日本	9	9	⑨
	北九州	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	④
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
福岡	久留米	NHK総合	46	46	③
		NHK教育	54	54	⑥
		KBCテレビ	57	57	①
		RKBテレビ	48	48	④
		FBSテレビ	52	52	⑫
		TVQ九州放送	14	14	⑤
		テレビ西日本	60	60	⑨
		サガテレビ	36	36	②
	大牟田	NHK総合	53	53	③
		NHK教育	50	50	⑥
		KBCテレビ	58	58	①
		RKBテレビ	61	61	④
		FBSテレビ	43	43	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑤
		テレビ西日本	55	55	⑨
		サガテレビ	36	36	②
	行橋	NHK総合	49	49	⑥
		NHK教育	46	46	⑫
		KBCテレビ	57	57	②
		RKBテレビ	60	60	⑧
		FBSテレビ	43	43	④
		TVQ九州放送	19	19	③
		テレビ西日本	54	54	⑩
佐賀	佐賀	NHK総合	38	38	⑨
		NHK教育	40	40	②
		サガテレビ	36	36	④
		KBCテレビ	57	57	①
		RKBテレビ	48	48	⑧
		FBSテレビ	52	52	③
		TVQ九州放送	14	14	⑤
		テレビ西日本	60	60	⑩
		RKKテレビ	11	11	⑪
		テレビ熊本	34	34	⑥
		長崎放送	5	5	⑦
		テレビ長崎	37	37	⑫
長崎	長崎	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	1	1	①
		長崎放送	5	5	⑤
		テレビ長崎	37	37	⑪
		長崎文化放送	27	27	⑨
		長崎国際テレビ	25	25	⑦
		KBCテレビ	57	57	②
		RKBテレビ	4	4	④
		テレビ西日本	9	9	⑧
		RKKテレビ	11	11	⑩
		テレビ熊本	34	34	⑥
		KKTテレビ	22	22	⑫
	佐世保	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	2	2	②
		長崎放送	10	10	⑩
		テレビ長崎	35	35	④
		長崎文化放送	31	31	⑤
		長崎国際テレビ	17	17	⑨
熊本	熊本	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		RKKテレビ	11	11	⑪
		テレビ熊本	34	34	⑥
		KKTテレビ	22	22	④
		熊本朝日放送	16	16	③
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑩
		テレビ長崎	37	37	⑦
		サガテレビ	36	36	⑧
		長崎放送	5	5	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
大分	大分	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		大分放送	5	5	⑤
		テレビ大分	36	36	⑦
		大分朝日放送	24	24	⑨
		南海放送	10	10	⑥
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	④
		FBS放送	37	37	⑧
		TVQ九州放送	19	19	⑩
		テレビ西日本	9	9	⑪
宮崎	宮崎	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		宮崎放送	10	10	⑩
		テレビ宮崎	35	35	③
		南日本放送	1	1	①
		鹿児島テレビ	38	38	⑨
		鹿児島放送	32	32	⑦
	延岡	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	2	2	②
		宮崎放送	6	6	⑥
		テレビ宮崎	39	39	⑧
鹿児島	鹿児島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		南日本放送	1	1	①
		鹿児島テレビ	38	38	⑨
		鹿児島放送	32	32	⑦
		鹿児島読売テレビ	30	30	⑪
		テレビ熊本	34	34	②
		KKTテレビ	22	22	⑧
		熊本朝日放送	16	16	⑩
		宮崎放送	10	10	⑥
		テレビ宮崎	35	35	④
	阿久根	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		南日本放送	10	10	⑩
		鹿児島テレビ	35	35	⑥
		鹿児島放送	23	23	④
		鹿児島読売テレビ	17	17	①
		テレビ熊本	34	34	②
		KKTテレビ	22	22	⑦
		熊本朝日放送	16	16	⑨
		RKKテレビ	11	11	⑪
沖縄	那覇	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		琉球放送	10	10	⑩
		琉球朝日放送	28	28	①
		沖縄テレビ	8	8	⑧

地上デジタル放送の地域別チャンネル表

リモコンの❶～⓬の数字ボタンに割り当てられる地上デジタルの放送局は下記のとおりです（2006年7月現在は放送を開始していない放送局もあります）。
引越しや新しく放送局が開設されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、「地上デジタル放送の設定を変更する」（☞64ページ）をご覧になり、チャンネルスキャンをやり直してください。また、各都道府県名の欄にない放送局を受信できる場合もあります。このときは数字ボタンに空きがあれば、その放送局を自動的に任意の番号として割り当てます。

都道府県	放送局名	リモコンボタン
北海道（帯広）	NHK総合・帯広	③
	NHK教育・帯広	②
	HBC帯広	①
	STV帯広	⑤
	HTB帯広	⑥
	UHB帯広	⑧
	TVH帯広	⑦
北海道（釧路）	NHK総合・釧路	③
	NHK教育・釧路	②
	HBC釧路	①
	STV釧路	⑤
	HTB釧路	⑥
	UHB釧路	⑧
	TVH釧路	⑦
北海道（北見）	NHK総合・北見	③
	NHK教育・北見	②
	HBC北見	①
	STV北見	⑤
	HTB北見	⑥
	UHB北見	⑧
	TVH北見	⑦
北海道（旭川）	NHK総合・旭川	③
	NHK教育・旭川	②
	HBC旭川	①
	STV旭川	⑤
	HTB旭川	⑥
	UHB旭川	⑧
	TVH旭川	⑦
北海道（札幌）	NHK総合・札幌	③
	NHK教育・札幌	②
	HBC札幌	①
	STV札幌	⑤
	HTB札幌	⑥
	UHB札幌	⑧
	TVH札幌	⑦
北海道（函館）	NHK総合・函館	③
	NHK教育・函館	②
	HBC函館	①
	STV函館	⑤
	HTB函館	⑥
	UHB函館	⑧
	TVH函館	⑦
北海道（室蘭）	NHK総合・室蘭	③
	NHK教育・室蘭	②
	HBC室蘭	①
	STV室蘭	⑤
	HTB室蘭	⑥
	UHB室蘭	⑧
	TVH室蘭	⑦

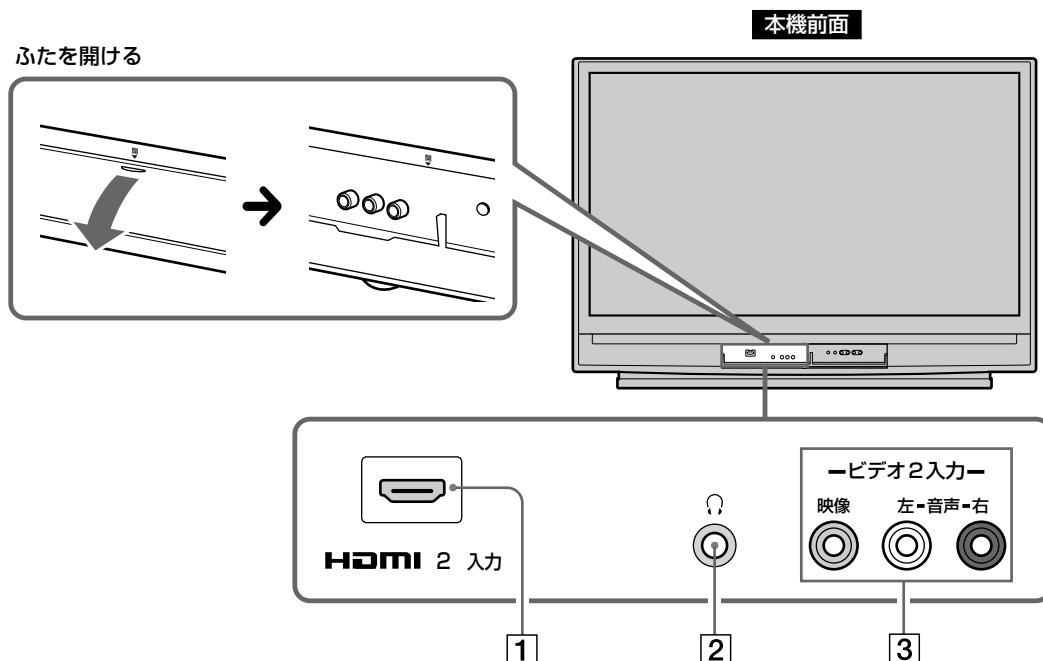
都道府県	放送局名	リモコンボタン
青森	NHK総合・青森	③
	NHK教育・青森	②
	RAB青森放送	①
	ATV青森テレビ	⑥
	青森朝日放送	⑤
岩手	NHK総合・盛岡	①
	NHK教育・盛岡	②
	IBCテレビ	⑥
	テレビ岩手	④
	めんこいテレビ	⑧
	岩手朝日テレビ	⑤
宮城	NHK総合・仙台	③
	NHK教育・仙台	②
	TBCテレビ	①
	仙台放送	⑧
	ミヤギテレビ	④
	KHB東日本放送	⑤
秋田	NHK総合・秋田	①
	NHK教育・秋田	②
	ABS秋田放送	④
	AKT秋田テレビ	⑧
	AAB秋田朝日放送	⑤
山形	NHK総合・山形	①
	NHK教育・山形	②
	YBC山形放送	④
	YTS山形テレビ	⑤
	テレビユー山形	⑥
	さくらんぼテレビ	⑧
福島	NHK総合・福島	①
	NHK教育・福島	②
	福島テレビ	⑧
	福島中央テレビ	④
	KFB福島放送	⑤
	テレビユー福島	⑥
茨城	NHK総合・水戸	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	放送大学	⑫
栃木	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	とちぎテレビ	③
	放送大学	⑫

都道府県	放送局名	リモコンボタン
群馬	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	群馬テレビ	③
	放送大学	⑫
埼玉	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	テレ玉	③
	放送大学	⑫
千葉	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	チバテレビ	③
	放送大学	⑫
東京	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	東京MXテレビ	⑨
	放送大学	⑫
神奈川	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	tvk	③
	放送大学	⑫
新潟	NHK総合・新潟	①
	NHK教育・新潟	②
	BSN	⑥
	NST	⑧
	TeNYテレビ新潟	④
	新潟テレビ21	⑤

都道府県	放送局名	リモコンボタン
富山	NHK総合·富山	③
	NHK教育·富山	②
	KNB北日本放送	①
	BBT富山テレビ	⑧
	チューリップテレビ	⑥
石川	NHK総合·金沢	①
	NHK教育·金沢	②
	テレビ金沢	④
	北陸朝日放送	⑤
	MRO	⑥
	石川テレビ	⑧
福井	NHK総合·福井	①
	NHK教育·福井	②
	FBCテレビ	⑦
	福井テレビ	⑧
山梨	NHK総合·甲府	①
	NHK教育·甲府	②
	YBS山梨放送	④
	UTY	⑥
長野	NHK総合·長野	①
	NHK教育·長野	②
	テレビ信州	④
	abn長野朝日放送	⑤
	SBC信越放送	⑥
	NBS長野放送	⑧
静岡	NHK総合·静岡	①
	NHK教育·静岡	②
	SBS	⑥
	テレビ静岡	⑧
	静岡第一テレビ	④
	静岡朝日テレビ	⑤
岐阜	NHK総合·岐阜	③
	NHK教育·名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	岐阜テレビ	⑧
愛知	NHK総合·名古屋	③
	NHK教育·名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	テレビ愛知	⑩
三重	NHK総合·津	③
	NHK教育·名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	三重テレビ	⑦
滋賀	NHK総合·大津	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	BBCびわ湖放送	③
京都	NHK総合·京都	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	KBS京都	⑤

都道府県	放送局名	リモコンボタン
大阪	NHK総合·大阪	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ大阪	⑦
兵庫	NHK総合·神戸	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	サンテレビ	③
奈良	NHK総合·奈良	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	奈良テレビ	⑨
和歌山	NHK総合·和歌山	①
	NHK教育·大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ和歌山	⑤
鳥取	NHK総合·鳥取	③
	NHK教育·鳥取	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
島根	NHK総合·松江	③
	NHK教育·松江	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
岡山	NHK総合·岡山	①
	NHK教育·岡山	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧
広島	NHK総合·広島	①
	NHK教育·広島	②
	RCCテレビ	③
	広島テレビ	④
	広島ホームテレビ	⑤
	TSS	⑧
山口	NHK総合·山口	①
	NHK教育·山口	②
	KRY山口放送	④
	ｔｙｓテレビ山口	③
	ｙａｂ山口朝日	⑤
徳島	NHK総合·徳島	③
	NHK教育·徳島	②
	四国放送	①
香川	NHK総合·高松	①
	NHK教育·高松	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧

都道府県	放送局名	リモコンボタン
愛媛	NHK総合·松山	①
	NHK教育·松山	②
	南海放送	④
	愛媛朝日	⑤
	あいテレビ	⑥
	テレビ愛媛	⑧
高知	NHK総合·高知	①
	NHK教育·高知	②
	高知放送	④
	テレビ高知	⑥
	さんさんテレビ	⑧
福岡	NHK総合·福岡 NHK総合·北九州	③
	NHK教育·福岡 NHK教育·北九州	②
	KBC九州朝日放送	①
	RKB毎日放送	④
	FBS福岡放送	⑤
	TVQ九州放送	⑦
	TNCテレビ西日本	⑧
佐賀	NHK総合·佐賀	①
	NHK教育·佐賀	②
	STSサガテレビ	③
長崎	NHK総合·長崎	①
	NHK教育·長崎	②
	NBC長崎放送	③
	KTNテレビ長崎	⑧
	NCC長崎文化放送	⑤
	NIB長崎国際テレビ	④
熊本	NHK総合·熊本	①
	NHK教育·熊本	②
	RKK熊本放送	③
	TKUテレビ熊本	⑧
	KKTくまもと県民	④
	KAB熊本朝日放送	⑤
大分	NHK総合·大分	①
	NHK教育·大分	②
	OBS大分放送	③
	TOSテレビ大分	④
	OAB大分朝日放送	⑤
宮崎	NHK総合·宮崎	①
	NHK教育·宮崎	②
	MRT宮崎放送	⑥
	UMKテレビ宮崎	③
鹿児島	NHK総合·鹿児島	③
	NHK教育·鹿児島	②
	MBC南日本放送	①
	KTS鹿児島テレビ	⑧
	KKB鹿児島放送	⑤
	KYT鹿児島読売TV	④
沖縄	NHK総合·那覇	①
	NHK教育·那覇	②
	RBCテレビ	③
	QAB琉球朝日放送	⑤
	沖縄テレビ(OTV)	⑧

接続端子の名前とはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

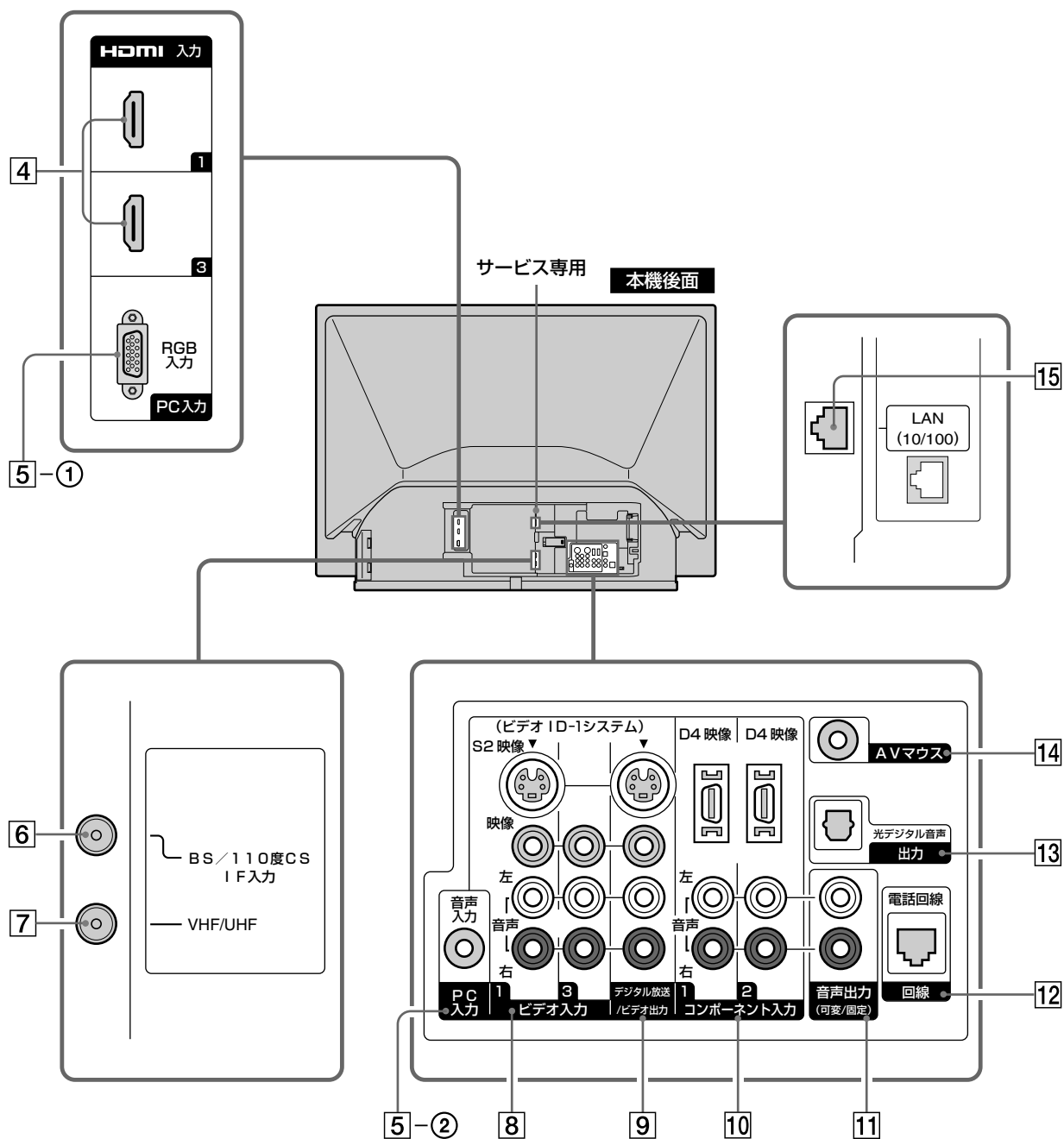
1 HDMI2入力端子（☞38ページ）

HDMIケーブルを使ってHDMI出力端子につなぎます。
デジタル映像・音声信号を入力します。
対応している映像信号:525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）、1125p（1080p）
対応している音声信号:PCM 32kHz、44.1kHz、48kHz

2 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

3 ビデオ2入力端子（映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞40ページ）

テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

接続端子の名前とはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

4 HDMI1、3入力端子（☞38ページ）

HDMIケーブルを使ってHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像･音声信号を入力します。

対応している映像信号:525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）、1125p（1080p）

対応している音声信号:PCM 32kHz、44.1kHz、48kHz

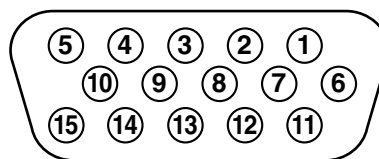
5 PC入力端子（☞52ページ）

①RGB入力端子

別売りのMini D-Sub15 - Mini D-Sub15ディスプレイケーブル（アナログRGB）を使って、パソコンのD-SUB出力端子につなぎます。必要に応じて市販のアダプターをお使いください。

②音声入力端子

別売りの音声コード（ステレオミニプラグ）を使って、パソコンの音声出力端子につなぎます。

RGB端子ピン配列

ピン番号	入力信号名
1	Rビデオ信号入力
2	Gビデオ信号入力
3	Bビデオ信号入力
4	グランド
5	グランド
6	グランド
7	グランド
8	グランド
9	DDC 5V 入力
10	グランド
11	グランド
12	DDCデータ
13	水平同期信号
14	垂直同期信号
15	DDCクロック

6 BS/110度CS IF入力端子（☞26、28ページ）

衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15/11Vの直流電圧が出ています。

7 VHF/UHFアンテナ端子（☞25、28ページ）

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

8 ビデオ1、3入力端子（S2映像*/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞40ページ）

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

* ビデオ1入力のみ

ご注意

BS/110度CS IF入力端子には、VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

9 デジタル放送/ビデオ出力端子(S2映像/映像/音声)(ビデオID-1システム)(☞42ページ)

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル、ビデオ1～3入力*の信号が出力されます。
デジタル放送の録画予約実行中は、映像･音声が固定されます。

* ビデオ1入力の信号については、メニューで「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」に設定してください。
  メニューから「テレビの設定をする」→「(各種設定)」→「ビデオ出力設定」→「ビデオ1あり」の順に選ぶ。

10 コンポーネント1、2入力端子(D4映像/音声)(☞39ページ)

D4映像入力端子

デジタルCSチューナーやビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

デジタルCSチューナーやビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。

D端子について

デジタル放送には次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i(480i)	525本	480本
525p(480p)	525本	480本
1125i(1080i)	1125本	1080本
750p(720p)	750本	720本

iはインターレース:飛び越し走査、pはプログレッシブ:順次走査の略です。
( )内は有効走査線数で数えたときの別称です。

デジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

11 音声出力(5kΩ)(可変/固定)端子(左/右)(☞51ページ)

オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。
選んでいるチャンネルや外部入力の音声が出力されます。

12 電話回線端子(☞53ページ)

付属のモジュラーテレホンコードカプラーを使って電話コンセントにつなぎます。また、ISDN回線をお使いのときは、ターミナルアダプターのアナログポートにつなぎます。ADSL回線をお使いのときは、スプリッターと付属のモジュラーテレホンコードカプラーを使ってつなぎます。

13 光デジタル音声出力端子(☞50ページ)

AVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの、光デジタル音声入力端子につなぎます。
デジタル放送のデジタル音声が出力されます。
また、地上アナログや外部入力からの音声はPCM音声(2ch)のデジタル信号に変換して出力されます。

14 AVマウス端子(☞42ページ)

付属のAVマウスをつなぎます。

15 LAN(10/100)端子(☞56ページ)

別売りのネットワーク(LAN)ケーブルを使って、モデムやルーターにつなぎます。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」(☞「操作編」74ページ)の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KDS-50A2500
KDS-60A2500
型名について詳しくは、「修理に出す前に」(☞「操作編」74ページ)をご覧ください。

故障の状態:できるだけくわしく
購入年月日:

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

項目	仕様
受信方式	NTSC方式 地上デジタル放送方式 BSデジタル放送方式 110度CSデジタル放送方式
受信チャンネル	VHF 1 ～ 12チャンネル UHF 13 ～ 62チャンネル CATV（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要） 地上アナログ：C13 ～ C63 地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル（テレビ、ラジオ、独立データ）の各チャンネル
BSデジタル・110度CSデジタル対応周波数	1022 ～ 2072MHz
BSデジタル・110度CSデジタル対応ローカル周波数	10.678GHz
使用スピーカー	フルレンジ 7×13cm楕円（2）
音声出力	実用最大出力： 内蔵スピーカー： 12W＋12W（JEITA） 負荷インピーダンス 7.5Ω

入出力端子

項目	仕様
アンテナ端子	VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター （コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え）
ビデオ1 ～ 3入力端子	S2映像（ビデオ1入力のみ）： 4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
	音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
コンポーネント1、2入力端子	D4映像： D端子 Y：1Vp-p（0.3V負同期付き） P_B/P_R、C_B/C_R：±350mVp-p、 入力インピーダンス 75Ω
	音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
HDMI1 ～ 3入力端子	映像：デジタルRGB/ Y C_B（P_B） C_R（P_R） （525i（480i）、525p（480p）、1125i （1080i）、750p（720p）、1125p（1080p））
	音声：PCM （32kHz、44.1kHz、48kHz）
デジタル放送/ビデオ出力端子	S2映像： 4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
	音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス4.7kΩ以下 テレビ放送の音声の100%変調時、またはBSデジタル放送の最大出力－12dB時の数値です。
音声出力端子	2ch出力、ピンジャック 最大出力レベル 2.0Vrms、 出力インピーダンス 5kΩ
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック、 負荷インピーダンス 16Ω以上
光デジタル音声出力端子	角型端子、 AAC/PCM対応
電話回線端子	モジュラージャック、 直流抵抗値 262Ω
LAN（10/100）端子	10 BASE-T/100 BASE-TX コネクター （ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10 BASE-T/100 BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）
AVマウス	ミニジャック
PC映像入力端子	D-SUB15ピン RGB信号：0.7Vp-p、75Ω 同期信号：TTLレベル、2.2kΩ
PC音声入力端子	ステレオミニジャック 500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上

次のページにつづく ⇨

主な仕様（つづき）

電源部・その他

モデム通信速度	2400bps
消費電力	215W
消費電力 （リモコン待機時）	0.1W ただし、以下の電源スタンバイ中は、消費電力が異なります。 予約した録画の実行中：40W 番組表（EPG）取得中：40W
使用温度範囲	5～35℃
パネルデバイス	0.61型SXRDパネル×3枚
パネル解像度	1920×1080×3（RGB） （ドット：水平×垂直）
ランプ	120W高圧水銀ランプ
レンズ	F2.5大口径レンズ
スクリーン	特殊2枚構成スクリーン
有効画面サイズ（幅・高さ・対角）	KDS-50A2500： 109.6・61.7・125.8cm
	KDS-60A2500： 132.7・74.1・152.0cm
最大外形寸法 （最大突起部分を除く） （幅×高さ×奥行き）	KDS-50A2500： 118.0×83.9×44.7cm
	KDS-60A2500： 141.3×98.8×51.4cm
質量	KDS-50A2500：34.0kg
	KDS-60A2500：44.0kg
電源	AC100V、50/60Hz
付属品	「付属品を確認する」 （☞20ページ）をご覧ください。

別売りアクセサリー

2006年7月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビスタンド　SU-RS11M（KDS-50A2500）
　SU-RS11X（KDS-60A2500）
交換用ランプユニット　XL-5200
テレビラック固定ベルト　BLT-R10
接続ケーブルなど
衛星アンテナなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
  JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- この製品はBBE Sound, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
  この製品は米国BBE Sound, Inc. の所有する特許USP5510752及び5736897を使用しています。
  BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- TruSurround XT、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc. の商標です。
  TruSurround XT技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 本機は電気通信事業法の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	認証番号
KDS-50A2500	A06-0107005
KDS-60A2500	A06-0106005

- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル
（☞34、63、65、67ページ）

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）
（☞27、33、56、66ページ）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

ゴースト（☞62ページ）

放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって表われ、見にくい画面となります。

タ行

地上デジタル
（☞18、32、64ページ）

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号HDによるテレビ放送や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタルCS放送（☞27ページ）

110度CSデジタルではなく、SKY PerfecTV!のことです。
通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。

デジタルハイビジョン信号HD

デジタル放送の画像方式で、1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

データ放送（☞18、53、56ページ）

放送波で情報を伝送し、ニュースや気象情報などを提供するサービス。双方向通信を使ったショッピングや視聴者参加番組などのデータ放送もある。
データのみを専門に扱っている独立データと、デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動して見ることができる連動データがあります。

ハ行

光デジタル音声出力（☞50ページ）

音声信号をデジタル形式のまま出力できるため、劣化がなく高品質の音声を楽しめます。

標準テレビ信号SD

デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

ラ行

ラジオ放送（☞18ページ）

画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては音楽CD並みの高音質が楽しめます。

数字•アルファベット順

110度CS（CS1、CS2）デジタル
（☞18、34、67ページ）

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。テレビ放送に加え、文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。

5.1ch（チャンネル）

左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。
本機の光デジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。

AAC（☞50ページ）

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド･オーディオ･コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード（ビーキャスカード）
（☞23ページ）

デジタル放送を見るために必要なICカードです。プラスチック･カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶されます。

BSデジタル
（☞18、34、67ページ）

2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号HDによるテレビ放送や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。

次のページにつづく ⇨

D端子（☞39、83ページ）

デジタルCS放送やDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。

HDMI（☞38、80、82ページ）

テレビ接続機器のデジタル映像・音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子（DVDプレーヤー、AVアンプなど）とテレビを1本のケーブルで接続することで高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

ID-1方式（**ビデオID-1システム**）（☞80、82、83ページ）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1～3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

PCM（☞50ページ）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス・コード・モジュレーション（Pulse Code Modulation）」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

S2映像端子（**S2方式**）（☞40、42、82、83ページ）

S映像のC端子へ直流電圧を重畳することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御記号が入っています。本機はS2方式に対応しています。
S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

索引（準備編）

索引では、メニューの項目を［XX］のようにあらわします。

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

数字･アルファベット順

数字

アルファベット